取扱説明書

DVD プレーヤー

型名 **XV-P303**

リージョン番号(ローカル番号)について

本機のリージョン番号は「2」です。DVDビデオの場合、リージョン番号表示に「ALL」または番号「2」が含まれているディスクに限り再生することができます。

再生が可能なリージョン番号表示の例:

ディスクのジャケットもご参照ください。

リージョン番号は、国や地域ごとに割り当てられた番号です。

お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠ ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に3〜5ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

GNT0041-003B

もくじ

お使いになる前に

接続と準備

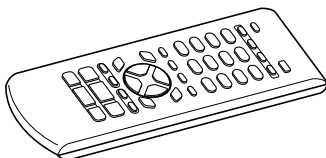
基本操作

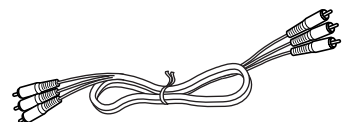
応用操作

設定を変更する

知っておいて欲しいこと

付属品をご確認ください

■ 本機をお使いになる前に、同梱の付属品をお確かめください。

リモコン(1個)

電池(リチウムボタン電池 CR2032:1個)
(リモコン動作確認用)

オーディオ/ビデオコード(1本)

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

● 絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

接触禁止

分解禁止

ぬれ手禁止
水ぬれ禁止

水場での使用禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

電源プラグを抜く

- 煙が出ている、へんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜く。異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。

分解禁止

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

一般的指示

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

風呂場やシャワー室では使用しない。

水場での使用禁止

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の中に物を入れない。

禁止

通風孔などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
特に、次のことに注意してください。
- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

安全上のご注意（つづき）ーはじめにお読みくださいー

⚠警告

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

表示された電源電圧（交流100ボルト）で使用する。

表示された電源電圧以外では、火災·感電の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。
This set is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

電池は放置しない。

電池を取り外したときは、幼児の手の届かないところに置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

設置場所に注意する。

次のような所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たる所や、熱器具の近くなど高温になるところ
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭いところに押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm以上離す

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。
電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源プラグを抜く

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源プラグを抜く

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

電源プラグを抜く

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない。

一般的指示

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前に、接続したテレビやアンプの音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

一般的指示

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。

ディスク挿入口に、手を入れない。

手を挟まれないよう注意

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電池の取り扱いに注意する。

禁止

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災･けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）を間違えない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく
- 電池を保管するときは、電池をショートさせないように、セロハンテープなどで絶縁する

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよくふきとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

電池は正しく廃棄する。

一般的指示

電池を廃棄するときは、ショートしないようにセロハンテープなどで絶縁してください。
電池の廃棄方法は各自治体によって異なります。お住まいの地域の指示に従って廃棄してください。

設置についてのご注意

故障などを防止するため次の場所は避けてください。

- 湿気やほこりの多いところ
- 風通しの悪い狭いところ
- バランスの悪い不安定なところ
- 直射日光が当たるところ
- 熱器具の近く
- 極端に寒いところ
- 寒暖の差が激しいところ
  本機の使用環境温度は5˚C～35˚Cです。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となります。
- 磁気を発生するところ
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 振動の激しいところ

露がついたときは

次のようなとき、本機内部のレンズに露（水滴）が付いて正しく再生できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気が多い所に置いてあるとき
- 冷えたところから急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を「入」にしたまま約1～2時間待ってから、ご使用ください。

本体のお手入れ

パネル操作面が汚れたら柔らかい布で**からぶき**してください。汚れがひどいときは、水で布をしめらせるか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとで**からぶき**してください。

ご注意
シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げを損なうおそれがあります。

ディスクについて

再生できるディスク

本機では以下のディスクが再生できます。

ディスクの種類とマーク	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオ　DVD VIDEO	音楽＋映像	12センチと8センチ
スーパービデオCD/ビデオCD　Video CD　COMPACT disc DIGITAL VIDEO　COMPACT disc SUPER VIDEO	音楽＋映像	12センチと8センチ
オーディオCD　COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音楽	12センチと8センチ

次のディスクも再生できます。
- DVDビデオのフォーマットで記録され、**ファイナライズ処理された**DVD-R/RWディスク
- 以下のフォーマットで記録されたCD-R/RWディスク
  - オーディオCDフォーマット(**ファイナライズ処理された**ディスクに限ります)
  - ビデオCDフォーマット、スーパービデオCDフォーマット
  - ISO9660フォーマット(MP3ファイルなど音楽・映像ファイルを再生するとき➡ **25**ページ)
- 次のディスクは音声のみ再生することができます。
  CD-G(グラフィック)、CD-EXTRA(エクストラ)、
  CD TEXT(テキスト)、およびMIX-MODE CD

ご注意
- ディスクの傷、汚れ、反り、記録状態、記録条件が原因で再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したような壊れたディスクや、ハート型や八角形など、特殊形状のディスク(シェイプCDなど)は再生できません。
- 2層ディスクの場合、1層目から2層目に切り換わるとき、映像や音声が乱れる場合がありますが、故障ではありません。
- DVDビデオおよびビデオCDは、ソフト製作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト製作者が意図したディスク内容に従って再生をしますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。
  このようなときは、テレビ画面に「⃠」が表示されますが、表示されないときもありますのでご注意ください。

テレビ方式について

本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSC方式に適合しています。NTSC方式以外のテレビ方式(PAL方式など)で収録されたディスクは、NTSC方式に変換して再生します。
- NTSC方式以外のテレビ方式(PAL方式など)で収録されたディスクは、正常なプログレッシブスキャン方式では再生されません。

デジタル音声フォーマットについて

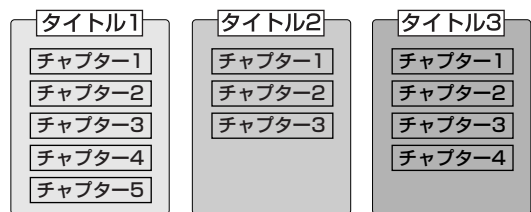
本機で再生できるディスクに記録されているデジタル音声フォーマットは、次の3種類です。
- ドルビーデジタル(Dolby Digital)
- DTS
- リニアPCM

各フォーマットについては「用語解説」(➡ **42**ページ)をご覧ください。

お知らせ
デジタル音声フォーマットや、本機と接続するデジタル音声機器に応じて、「簡単セットアップ」や、初期設定メニューの「音声メニュー」で「デジタルOUT」の設定を変更する必要があります(➡ **32**ページ)。

ディスクの構成について

● DVDビデオ

多くのDVDビデオは、**タイトル**と**チャプター**と呼ばれる項目から構成されています。DVDメニューなどから、お好みのタイトルまたはチャプターを選んで再生できます。

お知らせ
ディスクによってはタイトルやチャプターに分割されていないものもあります。

● オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCD

これらのディスクは、**トラック**と呼ばれる番号付きの項目から構成されています。お好みのトラック番号を選んで再生できます。

お知らせ
ディスクによっては「インデックス」と呼ばれる頭出しマークがトラックに記録されているものもあります。
本機は「インデックス」による頭出し機能には対応していません。

再生できないディスク

次のディスクを再生することはできません。
誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。
また、発生したノイズによって機器を破損することがあります。
- VR(ビデオレコーディング)フォーマットで記録されたDVD-RW
- DVDオーディオ
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- CD-ROM
- SACD
- フォトCD

再生できないディスクを入れてしまった場合は、本体の[▲(開/閉)]を押してディスクを取り出してください。

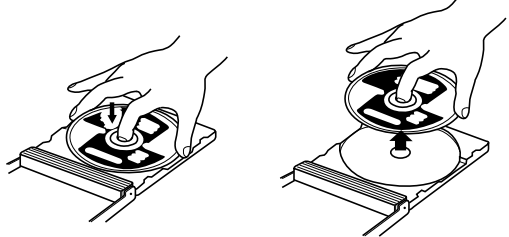
ご注意
本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを再生するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

CDロゴマーク

ディスクを使用するときは

取り扱い時の注意

ディスクを取り扱う際、以下のことに注意してください。正しく取り扱わないと、信号を読み取れなくなったり、ノイズが生じたり、また誤動作の原因となることがあります。

- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押したままディスクを持ち上げてください。

- ディスクに傷をつけないでください。
- ディスクの信号面(文字の書かれていない面)を汚したり、ラベル面(文字の書かれている面)に紙やセロハンテープなどを張らないでください。
- ディスクを反らせないでください。

ディスクの保管

使用するディスクは、ほこり、傷、変形などを防ぐため、必ず専用のケースの中に入れて保管し、次のようなところには絶対に置かないでください。

- **直射日光の当たるところ**
- **湿気やほこりの多いところ**
- **暖房器のそばや車の中など**

ディスクのクリーニング

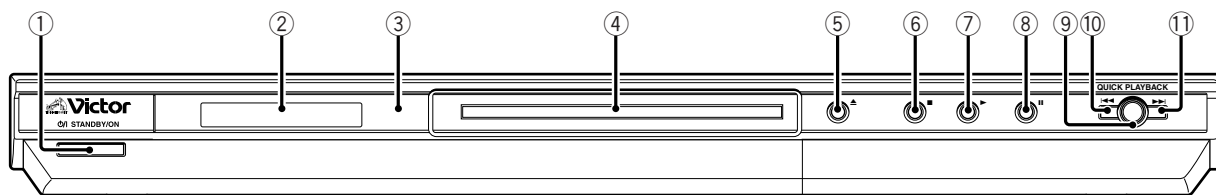
- ディスクの信号面についたほこりや指紋は、柔らかい乾いた布でディスクの中心から外側に向かって軽くふいてください。ディスクの円周方向にはふかないでください。

- レコードクリーナーやレコードスプレー、シンナーおよびベンジンなどの溶剤を、ディスクのクリーニングには使用しないでください。

商標と著作権

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSおよびDTS 2.0+ Digital Outは、デジタル・シアター・システムズ社の商標です。
- ディスクを著作権者に無断で複製したり放送、上映、演奏、レンタルすることは、法律により禁止されています。
- DVDビデオのロゴは商標です。
- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。
- お客様が個人的かつ非営利目的でご使用になる場合を除き、MPEG-4ビジュアル規格に準拠して本機をご使用になることは認められていません。
- 各社の商標および製品商標に対しては、特に注記のない場合でもこれを十分尊重いたします。

各部の名称と機能

本体

① ⏻/I STANDBY/ONボタン(➡ **12**ページ)
電源が「入/切」できます。

② **表示窓**
リモコンの**[表示切換/ディマー]**を押し続けると、表示窓の明るさを3段階で調節できます(➡ **13**ページ)。

③ **リモコン受光部**(➡ **9**ページ)
リモコンで操作するときは、リモコンの送信部をここに向けます。

④ **ディスクトレイ***(➡ **14**ページ)
ディスクの再生したい面を下に向けて置きます。

⑤ **▲(開/閉)ボタン**(➡ **14**ページ)
ディスクトレイが開閉できます。電源が「切」の状態で押すと電源が「入」になります。

⑥ **■(停止)ボタン**(➡ **14**ページ)
ディスクの再生を停止します。

⑦ **►(再生)ボタン**(➡ **14**ページ)
ディスクを再生します。

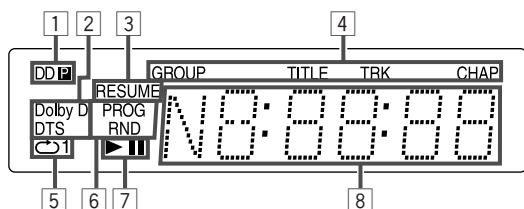
⑧ **❚❚(一時停止)ボタン**(➡ **17**ページ)
再生を一時停止します。

⑨ QUICK PLAYBACKボタン(➡ **17**ページ)
再生中に押すと、1.5倍速早見再生を行います。

⑩ **I◄◄ボタン**(➡ **15**、**17**、**24**、**26**ページ)
現在または前のタイトルやチャプター、トラックの先頭に戻ります。

⑪ **►►Iボタン**(➡ **15**、**17**、**24**、**26**ページ)
次のタイトルやチャプター、トラックの先頭に進みます。

* 本機に入れたディスクが取り出せないように、ディスクトレイをロック(トレイロック)できます。小さなお子様がいるご家庭などで、誤作動を防ぎたいときにお使いください。
ディスクトレイをロックするには次のように行います。
本機にディスクが入った状態で電源が「切」のとき、本体の**[■(停止)]**を押しながら、**[▲(開/閉)]**を押す
- **ディスクトレイがロックされているときは、ディスクを取り出そうとしても、表示窓に「LOCK」と表示され、ディスクトレイは出てきません。**
- **トレイロックを解除するときは、もう一度同じ操作を行います。解除されると表示窓に「L OFF」と表示されます。**

表示窓

1 **プログレッシブモード表示**(➡ **13**ページ)
スキャンモードが「プログレッシブ」方式のときに表示されます。映像ソースによって表示内容が変わります。

2 **デジタル音声フォーマット表示**(➡ **6**ページ)
ディスクに記録されているデジタル音声の種類がドルビーデジタル、DTSのときに表示されます。

3 **リジューム表示**(➡ **14**ページ)
この表示が出ているときに**[►(再生)]**を押すと、前回停止したところから再生できます。

4 **グループ/タイトル/トラック/チャプター表示**
DVDやCDのタイトル番号やチャプター番号が表示されているときに表示されます。

5 **リピートモード表示**(➡ **23**、**29**ページ)
リピート再生中に表示されます。リピートモードによって表示が変わります。

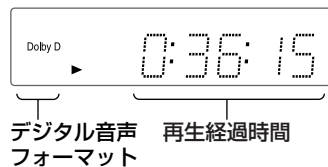
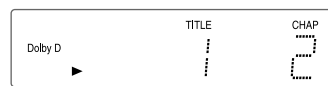
6 **プログラム/ランダムモード表示**(➡ **23**、**24**、**28**、**29**ページ)
プログラム再生中、ランダム再生中に表示されます。

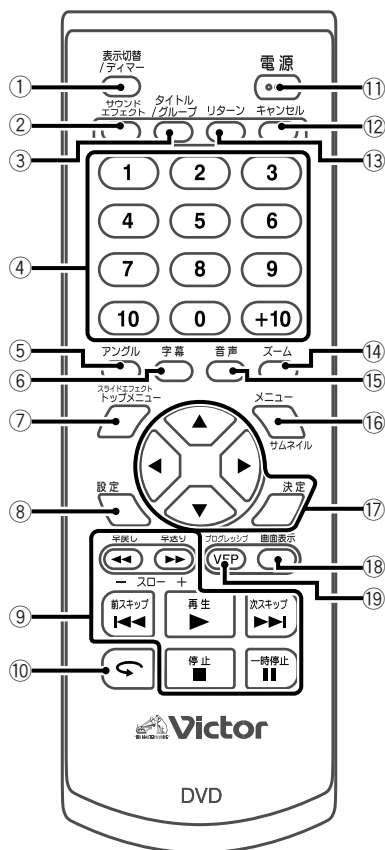
7 **►(再生)/❚❚(一時停止)表示**
再生中、一時停止中に表示されます。

8 **マルチ情報表示部**
アルファベットや数字でいろいろな情報が表示されます。

再生中の本体表示窓の表示について

ディスクの再生中、表示窓には再生中のタイトル、チャプター、再生経過時間などが表示されます。下記のイラストは、DVDビデオを再生中の表示例です。
リモコンの**[表示切換/ディマー]**を押すごとに表示内容が変えられます(➡ **9**ページ)。

例:再生時間が表示されているとき

例:タイトル番号、チャプター番号が表示されているとき
(再生を始めたとき、I◄◄、►►Iを押したときにも、約3秒間表示されます)

ステータスバーを表示させて、ディスクの再生情報を確認することもできます(➡ **21**ページ)。

リモコン

① **表示切換/ディマーボタン(➡ 8、13ページ)**
表示切換:表示窓に表示する内容が変更できます。
ディマー:ボタンを押し続けると、表示窓の明るさを3段階で調節することができます。

② **サウンドエフェクトボタン(➡ 20ページ)**
音声をアナログ接続しているとき、サウンドエフェクト(音場効果)が切り換えられます。ボタンを押すごとに3段階で切り換わります。

③ **タイトル/グループボタン(➡ 15ページ)**
DVDビデオの再生中に、このボタンを押してから数字ボタンを押すと、タイトル番号が指定できます。

④ **数字ボタン(1〜9、0、10、+10)**
グループ、チャプター、ファイル番号を入力します。

⑤ **アングル/スライドエフェクトボタン(➡ 19、28ページ)**
アングル:DVDビデオには、一つの場面を複数のカメラで異なる角度から撮影した映像(マルチアングル)を収録しているものがあります。お好みのアングルを選んで再生できます。
スライドエフェクト:スライドショー(➡ 28ページ)の効果を設定します。

⑥ **字幕ボタン(➡ 18ページ)**
複数の字幕言語が収録されているディスクで、お好みの字幕言語が選べます。

⑦ **トップメニューボタン(➡ 16ページ)**
DVDビデオに収録されているメニュー画面を表示します。

⑧ **設定ボタン(➡ 12、27、30、34ページ)**
初期設定メニューを表示します。

⑨ **再生操作ボタン**
再生、停止、一時停止、コマ送り、早送り、早戻し、スロー再生などの操作ができます。

⑩ **↶(チョット見バック)ボタン(➡ 14ページ)**
DVDビデオを再生中にこのボタンを押すと、約10秒前に戻って再生することができます。

⑪ **電源ボタン(➡ 12ページ)**
電源が「入/切」できます。

⑫ **キャンセルボタン(➡ 24、29ページ)**
プログラム再生の設定中に、プログラム内容が削除されます。

⑬ **リターンボタン(➡ 16ページ)**
PBC対応ディスクのメニュー画面に戻ります。

⑭ **ズームボタン(➡ 19、26ページ)**
画面上のお好みの場所を拡大して見ることができます。ボタンを押すごとに3段階で倍率が変わります。

⑮ **音声ボタン(➡ 18ページ)**
複数の音声言語/音声が収録されているディスクで、お好みの音声言語/音声が選べます。

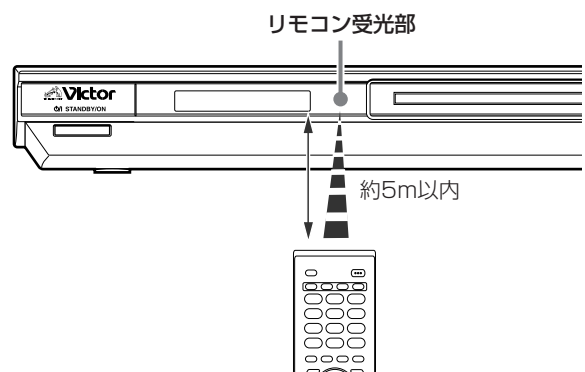
⑯ **メニュー/サムネイルボタン(➡ 16、27ページ)**
メニュー:DVDビデオやビデオCDに収録されたメニュー画面を表示します。
サムネイル:JPEGファイルの再生中、画面に表示させたサムネイル(縮小画像)からお好みのファイルを選んで再生できます。

⑰ **メニュー操作ボタン**
メニューの項目を選ぶときや設定を変えるときに使用します。

⑱ **画面表示ボタン(➡ 19、21、23、24ページ)**
ボタンを押すごとにメニューバーとステータスバーを表示します。

⑲ **プログレッシブ/VFPボタン(➡ 13、20ページ)**
プログレッシブ:ボタンを押し続けると、スキャンモードを「プログレッシブ」方式に切り換えることができます。プログレッシブスキャン対応テレビとD映像端子でつないだときに切り換えます。
VFP:VFP(Video Fine Processor)機能を使って画質が調節できます。

リモコンの操作範囲について

・**リモコンの先端を本体前面のリモコン受光部に向けて操作します。操作可能な距離は、リモコン受光部より約5 mですが、斜めから操作すると短くなります。**

・**リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっていると、動作しないことがあります。**
・**操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい電池と交換してください(➡11ページ)。**

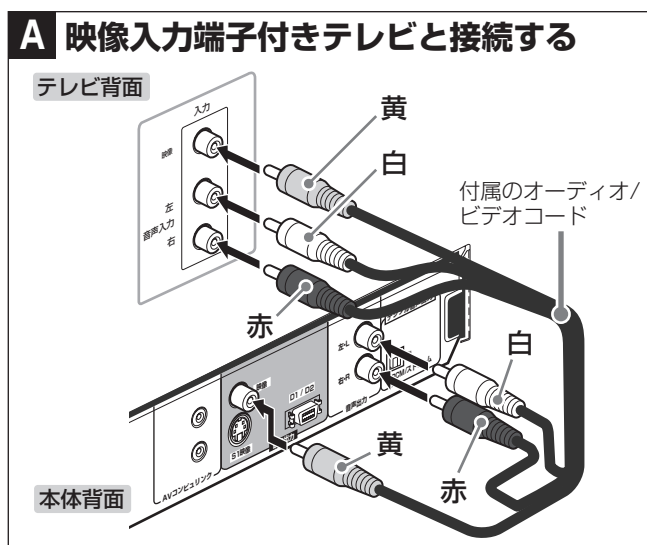
接続や準備をする

本機をテレビやアンプなどと接続します。またリモコンを準備します。

接続時のご注意
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 各プラグやコネクターはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音（ノイズ）や音が出ないなどの原因となります。
- 本機の映像出力は、テレビ（またはモニター）と直接つないでください。ビデオデッキを経由してつなぐと、本機のコピープロテクションシステムにより、再生中に画像が乱れることがあります。
  また、ビデオデッキ内蔵のテレビ（テレビデオ）につないだときも、再生中に画像が乱れる場合があります。

お知らせ
- 接続するテレビまたは機器がビクター製で、AVコンピュリンクIIまたはIII端子があるときは、「AVコンピュリンクの活用」（➡ **37**ページ）もご覧ください。
- テレビ（またはモニター）の映像入力端子がBNCタイプのときは、別売りの変換アダプター（VZ-90）を使用してください。

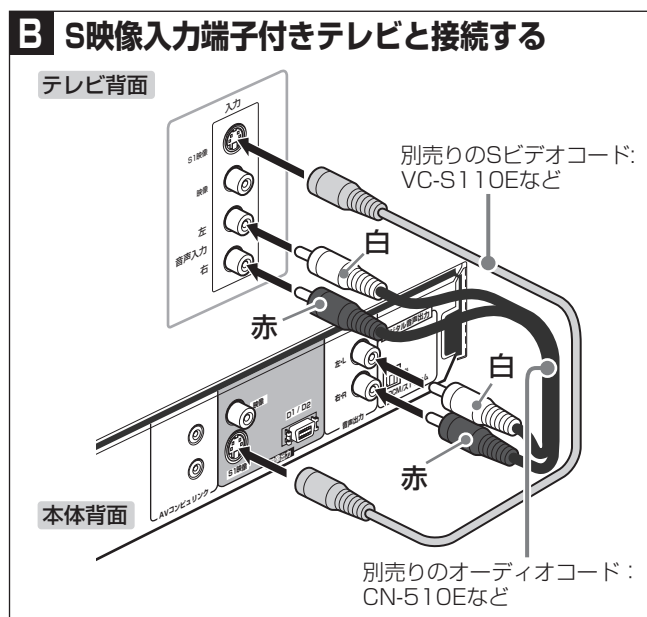
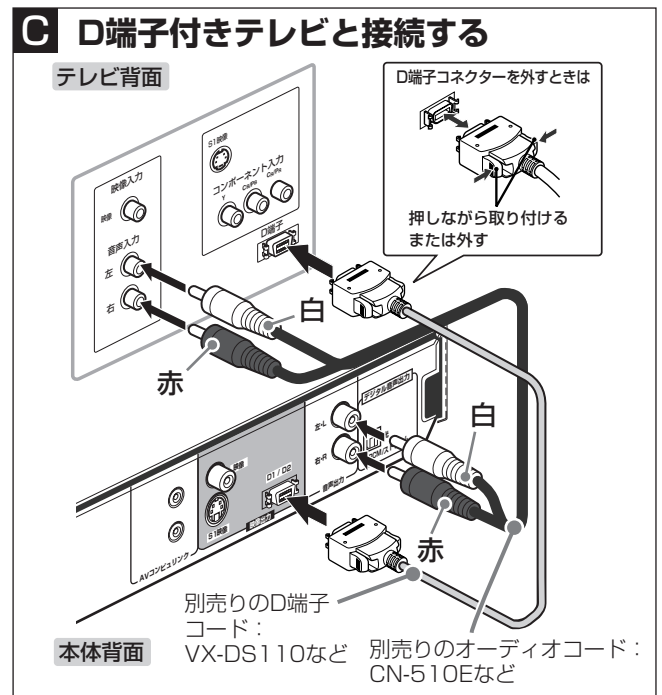
テレビとつなぐ

テレビの入力端子の種類によって、次の3通りの接続方法があります。

A 映像入力端子付きテレビと接続する

接続のあとで
- **簡単セットアップ**：「**TVタイプ**」を、接続したテレビの画面サイズに合わせて設定します（➡ **12**ページ）。
- **スキャンモード**　：「インターレース」方式に設定します（➡ **13**ページ）。

B S映像入力端子付きテレビと接続する

接続のあとで
- **簡単セットアップ**：「**TVタイプ**」を接続したテレビの画面サイズに合わせて設定します（➡ **12**ページ）。
- **スキャンモード**　：「インターレース」方式に設定します（➡ **13**ページ）。

C D端子付きテレビと接続する

接続のあとで
- **簡単セットアップ**：「**TVタイプ**」を接続したテレビの画面サイズに合わせて設定します（➡ **12**ページ）。
- **スキャンモード**　：**テレビが「プログレッシブ」方式対応**
  「プログレッシブ」方式に設定します（➡ **13**ページ）。
  テレビがプログレッシブ対応ではない
  「インターレース」方式に設定します（➡ **13**ページ）。

ご注意
- プログレッシブスキャン方式をお楽しみ頂くためには、テレビのD端子がD2信号に対応している必要があります。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- D端子を使ってテレビと接続するときは、本機の他の映像出力端子はテレビと接続しないでください。
  映像の色や明るさが正しく再生されません。
- 接続した後で設定するスキャンモードは、お買い上げ時は「インターレース」方式に設定されています。

アンプやレシーバーとつなぐ

アンプやデコーダーなどとつないで、より本格的な音声を楽しむことができます。
またデジタル音声接続をすると、本機で再生した音声をデジタル信号のまま外部機器へ出力することができます。

- アナログ音声接続も同時に行ってください。音声の収録方式によっては、デジタル信号が出力されないことがあります。
- 音声の接続に加えて、AVアンプなどに映像接続をするときは、AVアンプの取扱説明書をご覧ください。

A アナログ音声接続をする

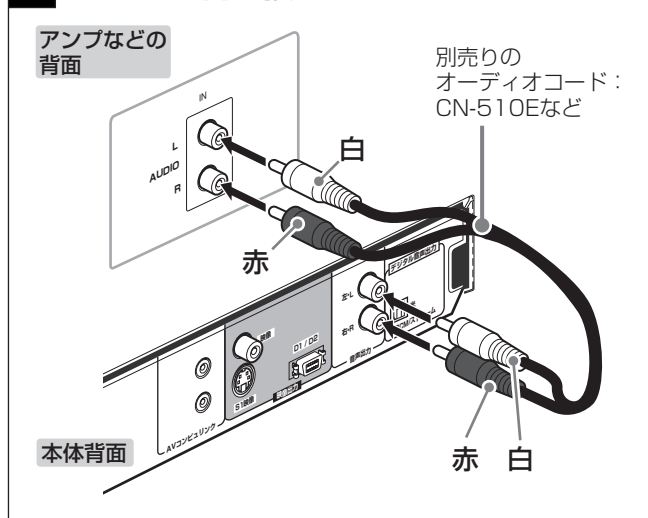
アンプなどの背面

別売りの
オーディオコード：
CN-510Eなど

白

赤

本体背面

赤　白

接続のあとで

- **初期設定画面**　：**ドルビープロロジックデコーダーを搭載している機器のとき**
「**アナログダウンミックス**」を「ドルビーサラウンド」に設定します(**➡ 32**ページ)。
ドルビープロロジックデコーダーを搭載していない機器のとき
「**アナログダウンミックス**」を「ステレオ」に設定します(**➡ 32**ページ)。

B デジタル音声接続をする

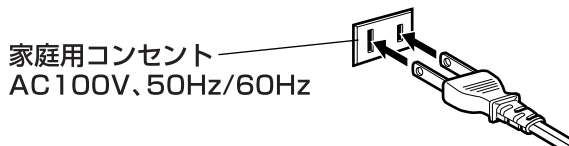
デジタル音声のデコーダーについて

- **デジタルマルチチャンネル音声では、専用のデコーダーを使ってマルチチャンネルサラウンドがお楽しみになれます。本機のデジタル出力設定について詳しくは「簡単セットアップを行う」(➡ 12ページ)や音声メニューの「デジタルOUT」(➡ 32、33ページ)をご覧ください。**

接続のあとで

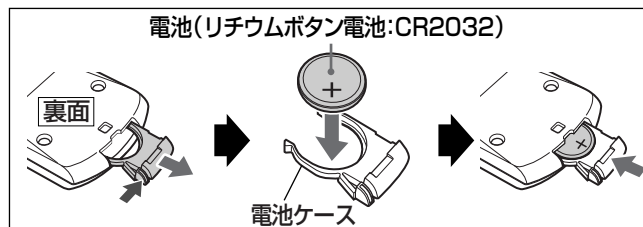
- **簡単セットアップ**：「**デジタルOUT**」を、接続した機器の搭載デコーダーの種類に合わせて設定します(**➡ 12**ページ)。

電源コードをつなぐ

接続がすべて終わってから、本機の電源コードを家庭用コンセント(交流100V)にしっかりと差し込んでください。

ご注意

- 電源コードはテレビやビデオデッキ、アンテナ線などから離してください。接近していると雑音が発生したり、映像が乱れたりすることがあります。
- 濡れた手で電源コードに触らないでください。
- 電源コードをコンセントから抜くときは、必ずプラグの部分を持って抜いてください。

リモコンを準備する

下図のように付属の電池(リチウムボタン電池:CR2032)を、＋(プラス)側を上にして入れます。
電池の極性(＋、－)を間違えないように入れてください。

ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 取り外した電池の取り扱いについては「安全上のご注意(**➡ 4**、**5**ページ)」をご覧ください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。
- 長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液もれなどの原因になります。

再生するための設定をする

操作の前に

- 以下、本書では主にリモコンからの操作を説明します。リモコンと同じマークのある本体のボタンでも、同様に操作できます。
- あらかじめテレビの電源を「入」にして、テレビの入力切換ボタンで本機を接続したビデオ入力に切り換えておき、本機からの映像が映るようにします。

簡単セットアップを行う

「簡単セットアップ」画面で、接続した機器に合わせて次の再生条件を設定します。

- テレビ画面のタイプ(TVタイプ)
- デジタル音声出力の種類(デジタルOUT)

これらの設定内容は、あとから初期設定メニューで設定や変更ができます(➡ **30**ページ)。

1 電源を押して電源を「入」にする

テレビ画面にオープニング画面が表示されます。

オープニング画面

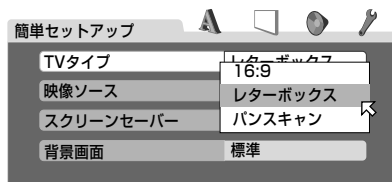
- 本体の[⏻/I STANDBY/ON]を押しても電源が入ります。
- オープニング画面には、本機の状態を示すメッセージが表示されます。

「NOW READING」：ディスク情報の読み取り中です。しばらくお待ちください。
「リージョンコードエラー!」：リージョンコードが違うため、このDVDビデオは再生できません。
「このディスクは再生できません!」：再生できないディスクです。
「OPEN」：ディスクトレイが開いています。
「CLOSE」：ディスクトレイを閉じています。
「NO DISC」：ディスクが入っていません。

お買いあげのあと、最初に電源を「入」にしたときは、オープニング画面に次のメッセージが表示されます。

画面と音声の基本設定を簡単セットアップで行いますか?
行う－決定ボタン　　　行わない－キャンセルボタン

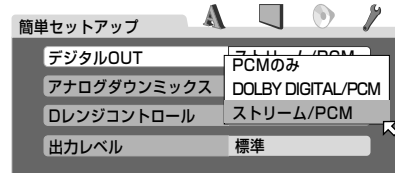
2 決定を押す

「簡単セットアップ」画面が表示され、「TVタイプ」の選択項目が表示されます。

3 ▲/▼を押してテレビのタイプを選ぶ

- **通常のテレビと接続しているとき**:
  「レターボックス」または「パンスキャン」を選びます。
- **ワイドテレビと接続しているとき**:
  「16:9」を選びます。

詳しくは、「TVタイプ」(➡ **31**ページ)をご覧ください。

4 決定を押す

テレビのタイプが設定され、次の設定画面で「デジタルOUT」の選択項目が表示されます。

5 ▲/▼を押してデジタル音声出力のタイプを選ぶ

デジタル音声接続しているときに設定します。デジタル音声接続をしていないときは手順**6**へ進みます。

- **外部機器に専用デコーダーがないとき**:
  「PCMのみ」を選びます。
- **本機のドルビーデジタルデコーダーを使わずに、外部機器でドルビーデジタル信号をデコードするとき**:
  「DOLBY DIGITAL/PCM」を選びます。DTS信号は本機でデコードされ、PCM音声で出力されます。
- **再生しているソフトのデジタル音声をそのまま出力し、外部機器ですべての信号をデコードするとき**:
  「ストリーム/PCM」を選びます。

接続した機器に専用デコーダーが装備されているかどうかについては、外部機器の取扱説明書をご覧ください。

詳しくは**32**、**33**ページをご覧ください。

6 決定を押す

簡単セットアップが終了し、オープニング画面が表示されます。

もう一度「簡単セットアップ」を表示させるには

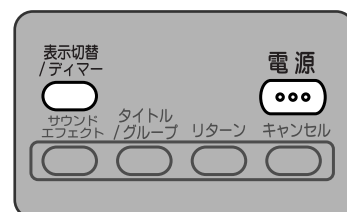
[設定]を2秒以上押し続けます。

電源を「切」にするには

[電源]を押すと、電源が「切」になります。

- 本体の[⏻/I STANDBY/ON]を押しても電源が切れます。

お知らせ

本機では、お好みの静止画をオープニング画面の代わりに表示させることができます。これを「カスタムオープニング画面」といいます(➡ **27**ページ)。

スキャンモードを切り換える

プログレッシブスキャン対応テレビと本機をD映像端子で接続したときは、スキャンモードを「プログレッシブ」方式に切り換えます。
お買い上げ時は「インターレース」方式に設定されています。
初期設定メニューの表示中は、切り換えることができません。

<停止中に>

(プログレッシブ VFP)を2秒以上押す

スキャンモードが「プログレッシブ」方式に切り換わります。表示窓にプログレッシブモードが表示されます（下図参照）。

・**スキャンモードが「プログレッシブ」方式のときは、D映像以外の端子からは、映像が出力されません。**

「インターレース」方式に戻すには
[プログレッシブ(VFP)]を2秒以上押します。
プログレッシブモードの表示が消えます。

プログレッシブモード表示について

スキャンモードが「プログレッシブ」方式のとき、現在の映像ソースの設定とディスクの収録素材(➡ 31ページ)に合わせて、次のように表示窓に表示されます。

映像ソースの設定	ディスクの収録素材	
	フィルム素材	ビデオ素材
ビデオ（ノーマル）	P	P
ビデオ（アクティブ）	P	P
フィルム	DD P	DD P
オート	DD P	P

P　：「P」は「プログレッシブ」を表します。
DD P　：「DD」は「デジタルダイレクト」を表します。

・**本機の状態や再生の状態によっては、正しく表示されないことがあります。**

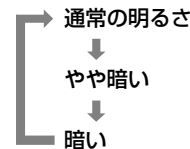
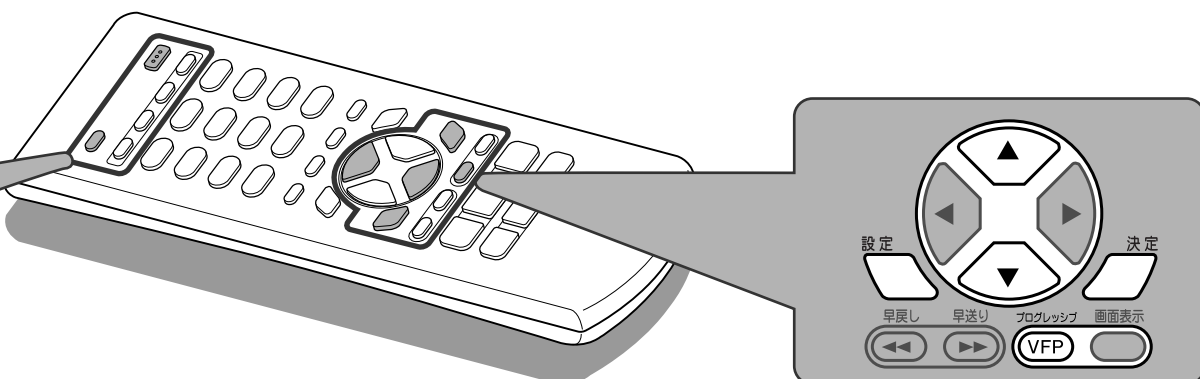
お知らせ

- ビクター製以外のプログレッシブスキャン対応テレビの中には、本機のプログレッシブスキャンに適合しないものがあります。テレビの映像が不自然に映るときは、スキャンモードを「インターレース」方式にしてください。
- **プログレッシブ映像出力の著作権保護信号について**
本機のプログレッシブ映像出力(525p)には著作権保護信号が付加されていることがあります。この信号に対応していないテレビ、モニターでは映像が乱れることがあります。このようなときは、スキャンモードを「インターレース」方式にしてお使いください。
ビクター製のテレビでは、HD-32DZ4やHD-32D1500などが著作権保護信号に対応しています。詳しくは「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。

表示窓の明るさを変える

表示窓の明るさを調節できます。

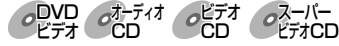
(表示切替/ディマー)を押し続ける

・ボタンを押し続けると、表示窓の明るさが3段階に変化します。お好みの明るさになったときに、ボタンを離します。

ご注意
[表示切換/ディマー]ボタンをくり返し押すと、表示窓の内容が変わります(➡ **8**ページ)。

DVDプレーヤーの基本操作

本書では各機能ごと操作できるディスクの種類を表示しています。右記の例をご覧ください。

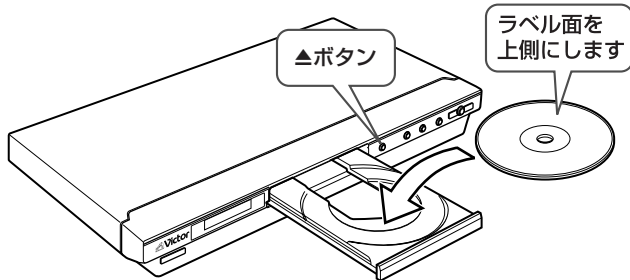
例：DVDビデオ、ビデオCD、スーパービデオCDで操作できるとき
DVDビデオ　ビデオCD　スーパービデオCD

再生する

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

1 本体の◎▲を押す

ディスクトレイが出てきます。

2 ディスクをディスクトレイに置く

8センチディスクは内側の凹部に置きます。

3 本体の◎▲を押してディスクトレイを閉める

4 本体の◎▶またはリモコンの[再生▶]を押す

再生が始まります。
- ディスクによっては、ディスクトレイを閉めると再生が始まるものもあります。

メニュー画面が表示されたときは

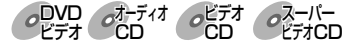
ディスクによっては、再生開始後にメニュー画面が表示されることがあります。メニュー画面から再生を始めることができます（➡ 16ページ）。

お知らせ

リジューム設定（➡ 32ページ）の状態により、ディスクトレイを開けると、次のようになります。
- リジューム設定が「オン」のとき：
  ディスクトレイを開けると、停止位置の記憶は取り消されます。
- リジューム設定が「ディスクリジューム」のとき：
  ディスクを取り出しても、最大で30枚までディスクの停止位置を記憶しています。

ご注意
- ディスクはトレイの溝に合わせて正しく置いてください。溝に合わないままディスクトレイを閉めると、ディスクを破損したり、ディスクが取り出せなくなる原因になります。
- 手順3のあと、表示窓に「READ」と表示されたまま、1分以上待っても再生が始まらない場合はディスクを取り出し、再生できるディスクかどうか確認してください。

停止する

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

再生中に[停止■]を押す

- DVDビデオの再生中で、リジューム設定（➡ 32ページ）が「オン」または「ディスクリジューム」のときは、停止位置が記憶されます。テレビ上に「RESUME STOP」が表示され、表示窓に「RESUME」が点灯されます。
- 停止位置は再生中に[停止(■)]を押すごとに記憶されます。記憶された停止位置は電源を「切」にしても残ります。
- 停止中に[停止(■)]を押すと停止位置は取り消されます。

停止したところから再生するときは

[再生(▶)]を押します。
前回停止したところから再生されます（リジューム再生）。DVDビデオでもディスクによっては働かないことがあります。

お知らせ
- DVDビデオのメニュー画面表示中は、再生位置が記憶できないことがあります。
- 両面タイプのDVDビデオの場合、表面と裏面はそれぞれ別々に再生位置が記憶されます。両面タイプのDVDビデオをディスクリジューム再生するときは、再生位置が記憶された面を下にして、ディスクトレイに置いてください。
- DVDビデオによっては、リジューム再生が働かないことがあります。
- オーディオCDでは、リジューム再生は働きません。

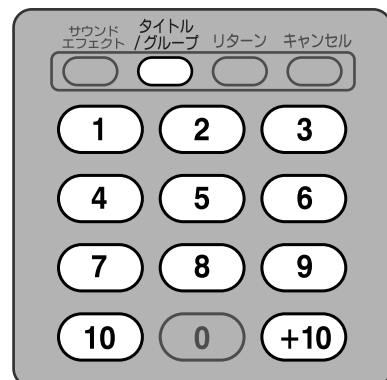
今見たシーンをもう一度見る（チョット見バック）

今見たシーンをワンタッチで戻して、もう一度見ることができます。　DVDビデオ

再生中に[↺]を押す

約10秒前からもう一度再生します。

お知らせ
- DVDビデオによっては働かないことがあります。
- 再生するタイトルが切り換わった直後に[↺]を押しても、前のタイトルには戻りません。

見たい場面や聴きたい曲を素早く選ぶ

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

タイトル/チャプター(DVDビデオ)やトラック(オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCD)の先頭にスキップできます。

頭出し1

<DVDビデオ　:再生中に>
<オーディオCD　:停止中または再生中に>
<ビデオCD/スーパービデオCD:停止中またはPBCオフで再生中に>

[次スキップ]または[前スキップ]を押す

選んだタイトル/チャプター/トラックが表示窓に表示され、再生が始まります。
[次スキップ(►►|)]をくり返し押すと、次のタイトル/チャプター/トラックに進みます。
[前スキップ(|◄◄)]をくり返し押すと、前のタイトル/チャプター/トラックに戻ります。

- 現在再生しているタイトル/チャプター/トラックの頭に戻すには、1回だけ**[前スキップ(|◄◄)]**を押します。
- オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDで停止中にトラックを選んだときは、**[再生(►)]**を押して再生を始めます。

頭出し2(リモコンのみ)

<DVDビデオ/オーディオCD　:停止中または再生中に>
<ビデオCD/スーパービデオCD:停止中またはPBCオフで再生中に>

数字ボタン(1〜10、+10)を使って番号を指定する

指定した番号が表示窓に表示され、再生が始まります。

- DVDビデオのときは、チャプターが指定されます。タイトルを指定するときは、**[タイトル/グループ]**を押してから数字ボタンを押します。
  停止中は、数字ボタンだけでタイトルが指定されることがあります。
- オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDのときは、トラックが指定されます(停止中のときは再生が始まります)。

数字ボタンの使いかた

番号「5」を選ぶには　：[5]を押します。
番号「24」を選ぶには：[+10] ➡ [+10] ➡ [4]と押します。
番号「30」を選ぶには　：[+10] ➡ [+10] ➡ [10]と押します。

お知らせ

DVDビデオやPBC(「用語解説」➡ **42**ページ)対応ディスクによっては、この機能を使えないものもあります。

再生中に表示されるマークについて

ディスクを再生していると、次のようなマークがテレビに一時的に表示されることがあります。

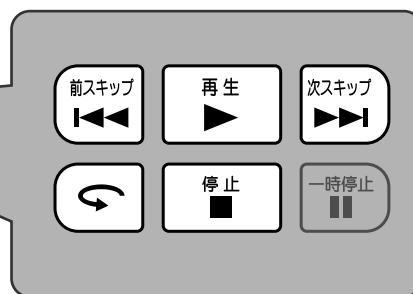
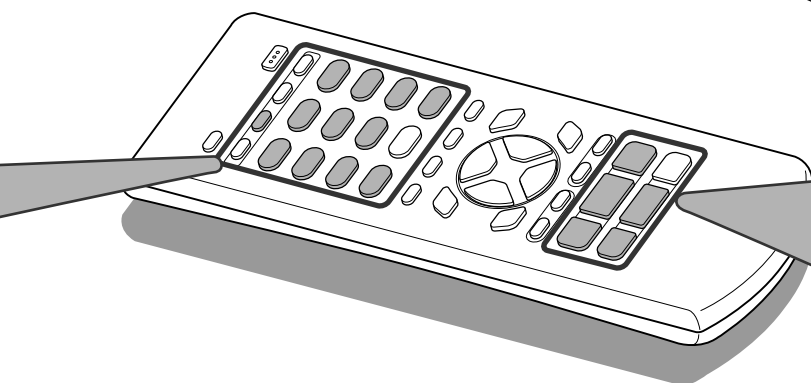
⃠：本機やディスクで禁止、または対応していない操作を行ったときに表示されます。
このマークが表示されなくても、操作ができないことがあります。

以下のマークは**オンスクリーンガイド**といいます。

- ►：再生を開始すると表示されます。
- ❚❚：一時停止(➡ **17**ページ)すると表示されます。
- ◄◄ ►►：早送り/早戻し再生(➡ **17**ページ)をすると表示されます。
- ◄❚ ❚►：スローモーション再生(➡ **17**ページ)をすると表示されます。
- (音声)：複数の音声言語/音声が収録されている場面で表示されます(➡ **18**ページ)。
- (字幕)：複数の字幕言語が収録されている場面で表示されます(➡ **18**ページ)。
- (アングル)：複数のアングルが収録されている場面で表示されます(➡ **19**ページ)。

- **オンスクリーンガイドが表示されないように設定できます(➡ 32ページ)。**

スクリーンセーバーについて

長い時間、テレビに静止画を映していると、画面が焼き付きを起こし静止画の残像が残ってしまうことがあります。これを防止するのがスクリーンセーバー機能です。
初期設定メニュー表示中、停止中、メニュー再生中など静止画の表示中5分以上何も操作しないと、画面が暗くなります。音楽・映像ファイルのコントロール画面を表示しているときは、コントロール画面が消えます。いずれかの操作ボタンを押すと解除され、元の明るさに戻ります。
スクリーンセーバー機能は「映像メニュー」(➡ 31ページ)で設定します。

基本操作

DVDプレーヤーの基本操作(つづき)

メニューから再生する

DVDビデオ ビデオCD スーパービデオCD

DVDビデオのメニューや、ビデオCD/スーパービデオCDのPBC(プレイバックコントロール「用語解説」➡**42**ページ)機能を使って、見たいところを選んで再生できます。

DVDビデオのメニューから選ぶ

一般にDVDビデオには、メニュー画面が収録されています。メニュー画面には、映画のタイトルや曲目、あるいはアーティスト情報が表示されたりします。このメニュー画面から見たいところを選んで再生できます。

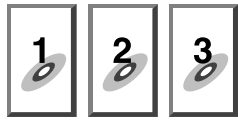
1 [トップメニュー] または [メニュー/サムネイル] を押す

メニュー画面が表示されます。

2 ◀/▶/▲/▼ を使って見たい映像や項目を選び、[決定]を押す

選択したところから再生されます。

・メニュー画面によっては、数字ボタンを押すだけで見たい映像や項目を選ぶことができます。

例:

・通常は**[トップメニュー]**を押して、タイトル名のリストなどが表示されているメニュー画面を表示させます。
ディスクによっては、**[メニュー]**を押して、メニュー画面を表示させることがあります。
ディスクのメニュー構成については、ディスクの説明書をご覧ください。

ご注意
停止中は、[メニュー]が働きません。

ビデオCD/スーパービデオCDのメニューから選ぶ

PBC対応ディスクを再生すると、収録内容の一覧がメニューとしてテレビに表示されます。このメニュー画面から、見たいところを選んで再生できます。

<PBC対応ディスクが停止中に>

1 [再生 ▶]を押す

PBCのメニュー画面が表示されます。

2 数字ボタン(1〜10、＋10)を使って見たいトラックの番号を指定する

選んだ番号のトラックが再生されます。

番号「5」を選ぶには	:**[5]**を押します。
番号「24」を選ぶには	:**[+10]** ➡ **[+10]** ➡ **[4]**と押します。
番号「30」を選ぶには	:**[+10]** ➡ **[+10]** ➡ **[10]**と押します。

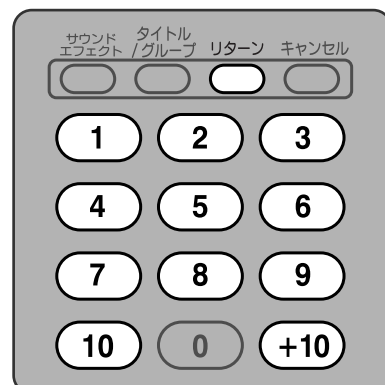
メニュー画面に戻るときは

[リターン]を押します。

テレビ上に[次]または[前]が表示されたときは

[次スキップ(▶▶I)]を押してメニューの次ページへ進みます。
[前スキップ(I◀◀)]を押してメニューの前ページへ戻ります。
・操作方法はディスクにより異なります。

PBCを「入/切」するには

・**PBCを「切」にして再生するには**
停止中に、見たいトラック番号を数字ボタンを使って指定します。選んだトラックから通常の再生が始まります。
・**PBCを「入」にするには**
[停止(■)]を2回押してから、**[再生(▶)]**を押します。

いろいろな速さで再生する

1.5倍速早見再生をする

音声を聞きながら早送り再生できます。 DVDビデオ

再生中に [早送り スロー＋] を1回押す

1.5倍速早見再生が始まります。
本体の[QUICK PLAYBACK]を押しても再生できます。
・早戻し再生から1.5倍速早見再生にする場合は、一度[再生(▶)]を押してから操作してください。

通常の再生に戻すには
[再生(▶)]を押します。
• 本体の[QUICK PLAYBACK]を押しても通常の再生に戻ります。

お知らせ
• 字幕があるときは、表示されます。
• ディスクによっては音声がとぎれる場合があります。
• デジタル音声出力は、ステレオリニアPCMに変換されて出力されます。ディスクによっては音程や音質、音量が変わることがあります。

早送り/早戻し再生をする

DVDビデオ オーディオCD ビデオCD スーパービデオCD

早送り/早戻し1

再生中に[次スキップ]または[前スキップ]を押し続ける

[次スキップ(▶▶|)]を押し続けている間、5倍速の早送り再生になります。
[前スキップ(|◀◀)]を押し続けている間、5倍速の早戻し再生になります。
ボタンから指を離すと通常の再生に戻ります。

早送り/早戻し2(リモコンのみ)

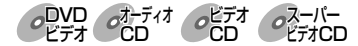
再生中に [早送り スロー＋] または [早戻し －スロー] を押す

ボタンを押すごとに、早送り/早戻しのスピードが1.5倍から60倍まで次のように変化します。
•DVDビデオ早送りの場合
1.5 ➔ 5 ➔ 20 ➔ 60
•DVDビデオ早戻しの場合
2 ➔ 5 ➔ 20 ➔ 60
•オーディオCD、ビデオCD、スーパービデオCDの場合
2 ➔ 5 ➔ 20

お知らせ
• 早送り(1.5倍速早見再生は除く)/早戻し再生中は、音声が出ません(オーディオCDでは、音声が断続的に聞こえます)。
• オンスクリーンガイドを「オン」に設定しているときは、次のように表示されます。

▶▶ x20 例:20倍で早送り再生中　◀◀ x5 例:5倍で早戻し再生中

一時停止/コマ送り/スロー再生

一時停止 DVDビデオ オーディオCD ビデオCD スーパービデオCD

再生中に[一時停止]を押す

再生が一時停止し、表示窓の「II」が点灯されます。

画像を1コマずつ送る(コマ送り) DVDビデオ ビデオCD スーパービデオCD

一時停止中に[一時停止]を押す

ボタンを押すごとに静止画像が次のフレームに進みます。

スローモーション再生する(スロー再生) DVDビデオ ビデオCD スーパービデオCD

一時停止中に [早送り スロー＋] または [早戻し －スロー] を押す

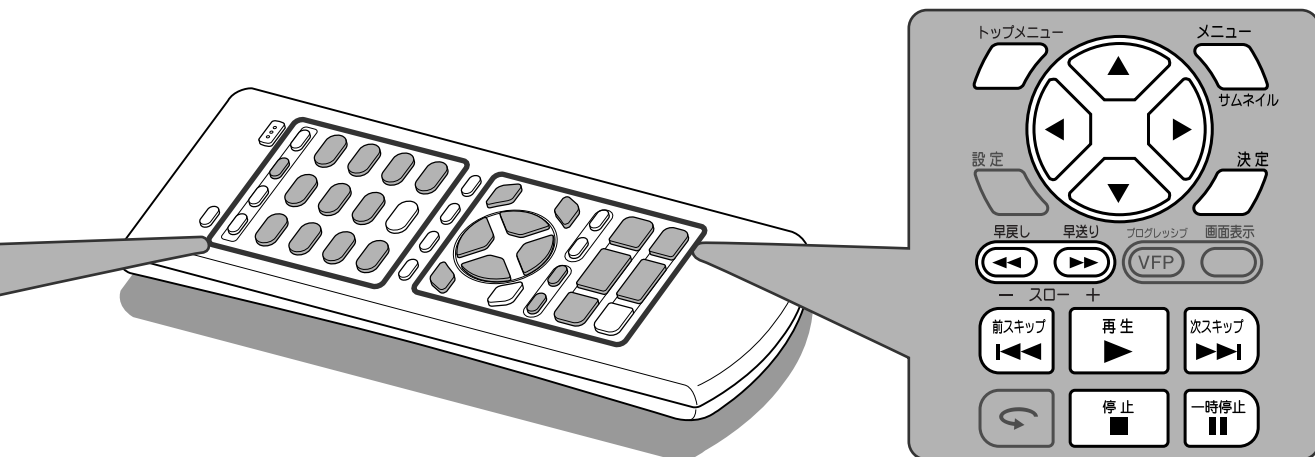
[スロー(＋)(▶▶)]を押すと順方向のスローモーション再生になります。
[スロー(－)(◀◀)]を押すと逆方向のスローモーション再生になります。
・押すごとに、再生スピードが次のように変化します。

1/32 ➔ 1/16 ➔ 1/4 ➔ 1/2

通常の再生に戻すには
[再生(▶)]を押します。

お知らせ
• スローモーション再生中は、音声が出ません。
• ビデオCD、スーパービデオCDは、逆方向のスローモーション再生ができません。
• オンスクリーンガイドを「オン」に設定しているときは、次のように表示されます。

I▶ 1/2 例:順方向に1/2スロー再生中　◀I 1/32 例:逆方向に1/32スロー再生中

基本操作

DVDプレーヤーの便利な機能

音声言語/音声を選ぶ

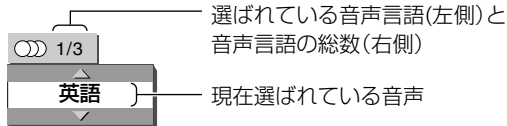
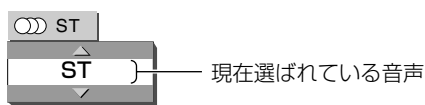
DVDビデオ　ビデオCD　スーパービデオCD

複数の音声言語/音声が収録されているディスクで、お好みの音声言語/音声を選びます。

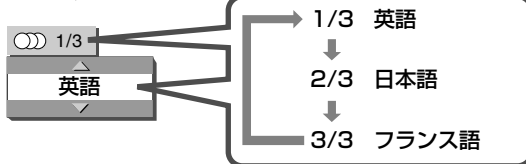
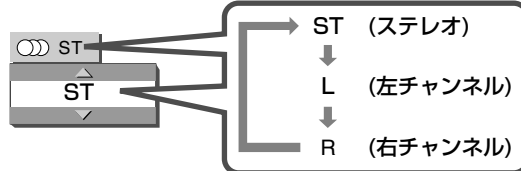
・**複数の音声言語/音声が収録されている場面では、画面に「◯))」と表示されます。**

1 再生中に 音声 を押す

次の選択画面が表示されます。

例:DVDビデオのとき

例:ビデオCDのとき

2 音声 をくり返し押して音声言語または音声を選ぶ

ボタンを押すごとに、音声言語/音声が切り換わります。

例:DVDビデオのとき

3 決定 を押す

選んだ音声で再生されます。
選択画面が消えます。

お知らせ

- メニューバーを使って、音声言語を選ぶこともできます(➡ **22**ページ)。
- DVDビデオの再生中、選択できる音声言語の項目のうち、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語以外は言語コード(➡ **33**ページ)で表示されます。

ご注意

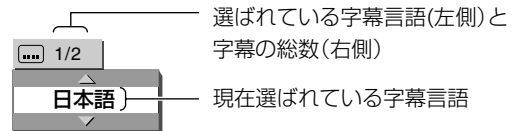
オンスクリーンガイドが「オフ」のときは「◯))」が表示されません (➡ **32**ページ)。

字幕を切り換える

DVDビデオ　スーパービデオCD

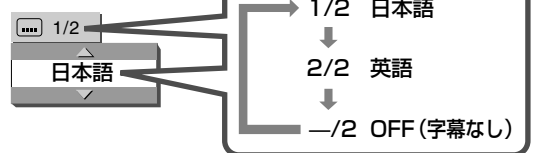
複数の字幕言語が収録されているディスクで、お好みの字幕言語を選びます。

・**複数の字幕言語が収録されている場面では、画面に「....」が表示されます。**

1 再生中に 字幕 を押す

次の選択画面が表示されます。

2 字幕 をくり返し押して字幕言語を選ぶ

ボタンを押すごとに、字幕言語が切り換わります。

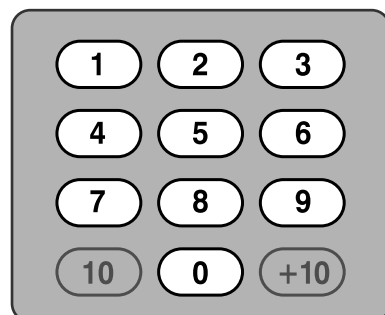
例:

3 決定 を押す

選んだ字幕が表示されます。
選択画面が消えます。

お知らせ

- メニューバーを使って、字幕を選ぶこともできます(➡ **22**ページ)。
- DVDビデオの再生中、選択できる字幕言語の項目のうち、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語以外は言語コード(➡ **33**ページ)で表示されます。

ご注意

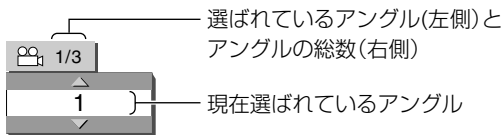
オンスクリーンガイドが「オフ」のときは「....」が表示されません(➡ **32**ページ)。

アングルを切り換える

DVDビデオには、一つの場面を複数のカメラで異なる角度から撮影した映像を収録しているものがあります。お好みのアングルを選んで再生できます。

DVDビデオ

- **複数のアングルが収録されている場面では、画面に「」と表示されます。**

1 **再生中に アングル を押す**

次の選択画面が表示されます。

2 **アングル をくり返し押してアングルを選ぶ**

ボタンを押すごとに、アングルが切り換わります。

3 **決定を押す**

選んだアングルで再生されます。
選択画面が消えます。

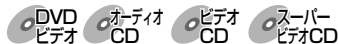
お知らせ

メニューバーを使って、アングルを選ぶこともできます(➡ **22**ページ)。

ご注意

- オンスクリーンガイドが「オフ」のときは「」が表示されません (➡ **32**ページ)。
- マルチアングルが収録されていないディスクでは、アングルの切り換えがご使用になれません。

再生したい位置の時間を指定する
(タイムサーチ)

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

現在のタイトルの先頭(DVDビデオ)やディスクの先頭(オーディオCD、ビデオCD、スーパービデオCD)からの時間を指定して、再生が始められます。

- **DVDビデオの場合、ディスクによっては働かないことがあります。**
- **プログラム再生中、ランダム再生中にはこの機能が働きません。**

<DVDビデオ　:再生中に>
<オーディオCD　:停止中または再生中に>
<ビデオCD/スーパービデオCD :停止中またはPBCオフで再生中に>

1 **画面表示を2回押してメニューバーを表示させる**

メニューバーについて詳しくは、**22**ページをご覧ください。

2 **◀/▶を押してカーソルを ⏲➡ に合わせ、決定を押す**

3 **数字ボタン(1〜9、0)を押して再生したい時間を入力する**

例:DVDビデオのとき

TIME 2:34:__	2時間34分0秒から再生するときは、[2]➡[3]➡[4]と押します。

- DVDビデオ以外のときは、分と秒を入力します。
- 秒の入力は省略することができます。
- [10]と[+10]は使用しません。

入力を間違えたときは、間違えた数字が消えるまで[◀]を押し、そのあと正しい数字を入力し直してください。

4 **決定を押す**

指定した時間から再生が始まります。

メニューバーを消すには

[画面表示]を押します。

画面を拡大する

画面上のお好みの場所を拡大して見ることができます。

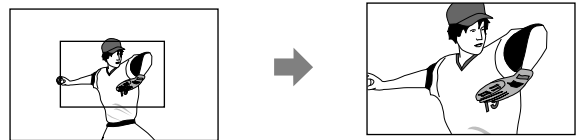
DVDビデオ　ビデオCD　スーパービデオCD

- **ディスクによっては拡大できないことがあります。**

1 **再生中または一時停止中に ズーム を押す**

画面が拡大されます。

- ボタンを押すごとに、倍率が次のように変化します。

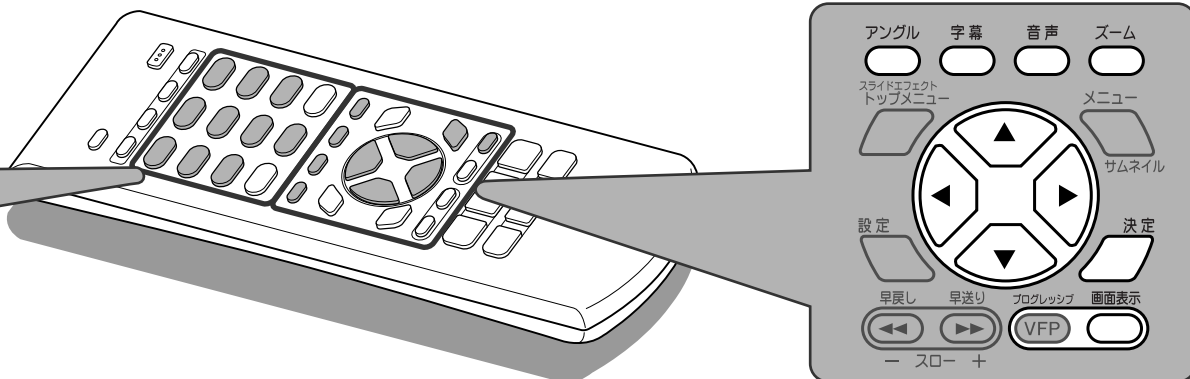
➡ 1.5倍 ➡ 2倍 ➡ 4倍 ➡ 1倍(ズーム解除)

2 **◀/▶/▲/▼ を押して拡大したい部分を選ぶ**

通常の画面に戻すには

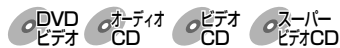
[ズーム]をくり返し押して1倍に戻します。

ご注意

拡大すると画質が悪化したり、画像がブレることがあります。

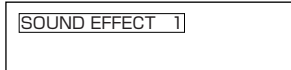
応用操作

DVDプレーヤーの便利な機能(つづき)

サウンドエフェクトを切り換える

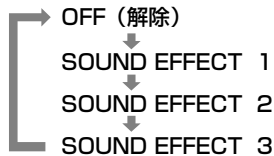
DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

音声をアナログ接続(➡ 11ページ)しているとき、サウンドエフェクト(音場効果)が切り換えられます。

1 再生中に サウンドエフェクト を押す

テレビ画面に、現在のサウンドエフェクトのモードが表示されます。

SOUND EFFECT　1

2 サウンドエフェクト を押してサウンドエフェクトのモードを選ぶ

ボタンを押すごとに、次のようにサウンドエフェクトのモードが切り換わります。

OFF(解除)
↓
SOUND EFFECT　1
↓
SOUND EFFECT　2
↓
SOUND EFFECT　3

数値が大きくなると、サウンドエフェクトの効果が大きくなります。

通常の音声に戻すには

[サウンドエフェクト]をくり返し押して、「OFF」を選びます。

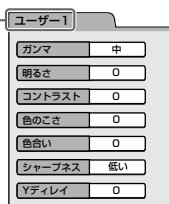
画質を調節する(VFP)

DVDビデオ　ビデオCD　スーパービデオCD

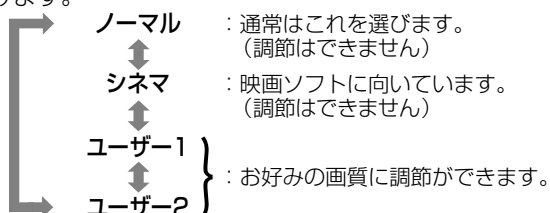
VFP(Video Fine Processor「用語解説」➡ 42ページ)機能を使い、映像を観賞する部屋の照明やお好みに合わせて画質を調節することができます。

1 再生中に プログレッシブ(VFP) を押す

VFP設定画面が表示されます。

現在選択されている VFP モード

2 ◀/▶ を使ってVFPモードを選ぶ

ボタンを押すごとに、次のようにVFPモードが切り換わります。「ノーマル」、「シネマ」を選んだときは、手順6に進みます。

ノーマル：通常はこれを選びます。(調節はできません)
⇕
シネマ：映画ソフトに向いています。(調節はできません)
⇕
ユーザー1
⇕
ユーザー2
(ユーザー1・ユーザー2)：お好みの画質に調節ができます。

ユーザー1、2を選んだときは

続く手順3～6でお好みの設定を調節し、記憶させることができます。

3 ▲/▼を押して設定項目を選ぶ

設定項目

ガンマ	：画面の暗い部分と明るい部分の明るさを変えずに、中間の明るさを調節します。(設定範囲：**低い、中、高い**)
明るさ	：画面の明るさを調節します。(設定範囲：**－16～＋16**)
コントラスト	：画面のコントラストを調節します。(設定範囲：**－12～＋12**)
色のこさ	：画面の色の濃さを調節します。(設定範囲：**－16～＋16**)
色合い	：画面の色合いを調節します。(設定範囲：**－16～＋16**)
シャープネス	：画面のシャープさを調節します。(設定範囲：**低い、高い**)
Yディレイ	：画面の色ズレを調節します。(設定範囲：**－2～＋2**)

4 決定を押す

VFP設定画面が消えて、項目ごとの調節画面が表示されます。

例：「ガンマ」を選んだとき

5 ▲/▼を押して調節する

[▲]を押すと数値が大きくなります。
[▼]を押すと数値が小さくなります。

6 決定を押す

再び、VFP設定画面が表示されます。
他の項目を調節をするときは、手順3からくり返します。

VFP設定画面を消すには

[VFP(プログレッシブ)]を押します。
・何も操作しないときは、約10秒で消えます。

ご注意

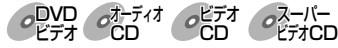
- VFP設定画面を表示させるときは、[VFP(プログレッシブ)]を長く押さないでください。長く押すと、スキャンモードの切り換えボタンとして働きます(➡ 13ページ)。
- 画面を拡大しているときには、VFPは操作できません。

ステータスバー、メニューバーを使う

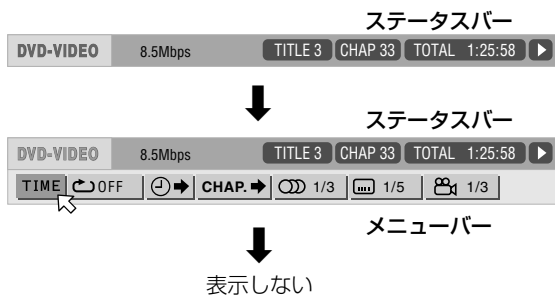
テレビの画面にステータスバーやメニューバーを表示させて、再生中のディスクの情報を確認したり（ステータスバー）、さまざまな機能を呼び出す（メニューバー）ことができます。

- **音声・映像ファイル（MP3/JPEG/MPEG-4ファイル ➡ 25ページ）の再生中に、ステータスバー/メニューバーは表示できません。**

ステータスバーやメニューバーを操作する

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

1 再生中または一時停止中に 画面表示 を押す

ボタンを押すごとに次のように表示が切り換わります。

例：DVDビデオのとき

2 メニューバー表示中に ◀/▶ を押してでアイコンを選ぶ

3 決定を押す

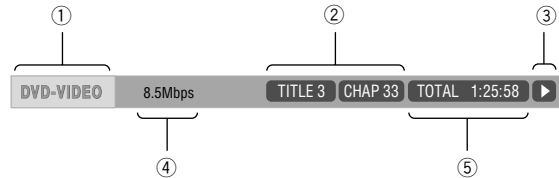
各機能が設定できるようになります。設定内容については「アイコン一覧」（➡ **22**ページ）をご覧ください。

- メニューバーのアイコンの文字やマークの色が変わっているときは、その機能が働いています。

ご注意

DVDビデオやビデオCDのメニュー画面が表示されているときにメニューバーを表示すると、メニュー画面での操作がうまくできないときがあります。そのようなときは、メニューバー表示を消してください。

ステータスバーについて

ステータスバーには次の情報が表示されます。

①ディスクの種類

DVDビデオのとき　：DVD-VIDEO

オーディオCDのとき　：CD

ビデオCDのとき　：VCD

スーパービデオCDのとき：SVCD

②現在のタイトル・チャプターまたはトラック番号

DVDビデオのとき

TITLE 3 CHAP 33：現在のタイトル番号とチャプター番号が表示されます。

オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDのとき

TRACK 33：現在のトラック番号が表示されます。

③再生の状態

DVDプレーヤーの再生の状態を表示します。

再生中：▶　停止中：■

一時停止中：❚❚　早送り/早戻し中：◀◀ ▶▶

スロー再生中：◀❚ ❚▶

④転送レート（DVDビデオのみ）

映像の単位時間当たりの平均情報量を示しています。

⑤時間表示

次の4つの時間表示ができます（➡ **22**ページ）。

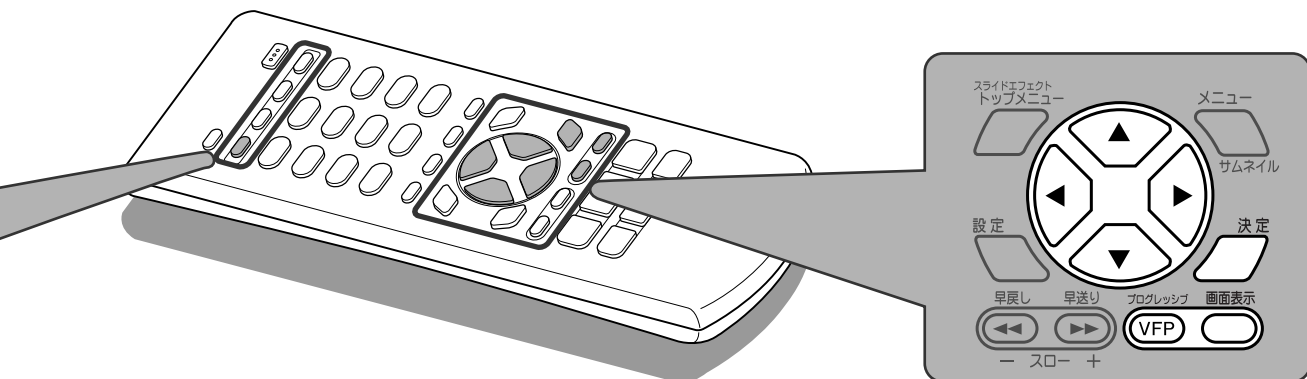
TOTAL：タイトル（ディスク）*の最初からの再生経過時間

T.REM：タイトル（ディスク）*の残り再生時間

TIME：現在再生中のチャプター（トラック）*の再生経過時間

REM：現在再生中のチャプター（トラック）*の残り再生時間

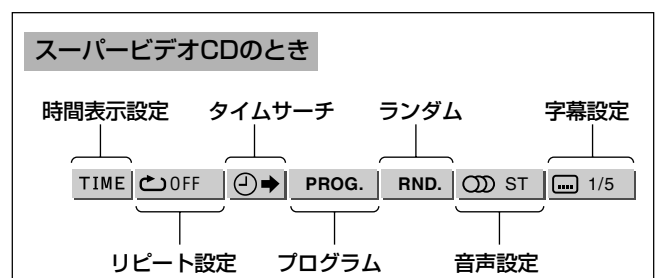
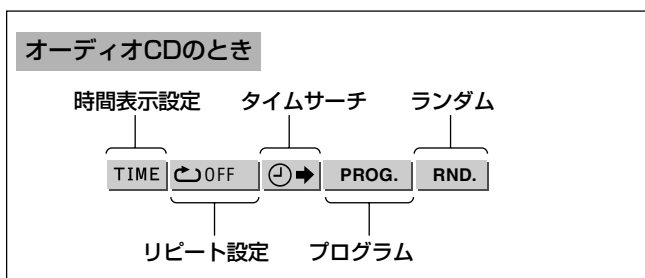
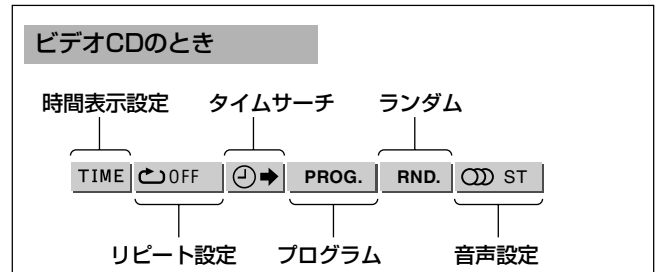
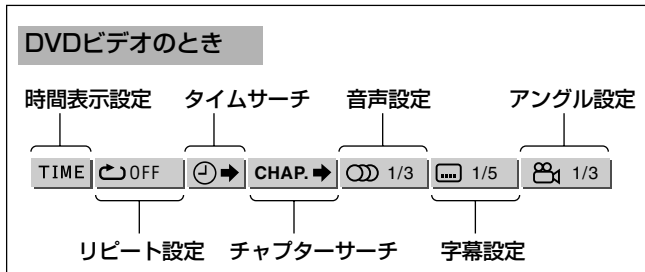
*（ ）内はDVDビデオ以外のディスク

応用操作

ステータスバー、メニューバーを使う(つづき)

ステータスバーやメニューバーを操作する(つづき)

メニューバーについて

メニューバーから次の操作ができます。使える機能はディスクの種類によって異なります。
詳しい使い方は、「アイコン一覧」をご覧ください。

アイコン一覧

● TIME 時間表示 (DVDビデオ / オーディオCD / ビデオCD / スーパービデオCD)
ステータスバーの時間表示を切り換えます。[決定]を押すごとに時間表示が次のように切り換わります。

TOTAL :タイトル(ディスク)*の最初からの再生経過時間
T. REM :タイトル(ディスク)*の残り再生時間
TIME :チャプター(トラック)*の再生経過時間
REM :チャプター(トラック)*の残り再生時間
*( )内はDVDビデオ以外のディスク

● OFF リピート (DVDビデオ / オーディオCD / ビデオCD / スーパービデオCD)
くり返し再生するときに選びます。詳しくは、「くり返し再生する」(➡ **23**ページ)をご覧ください。

● タイムサーチ (DVDビデオ / オーディオCD / ビデオCD / スーパービデオCD)
再生したい場所を時間で指定します。数字ボタンでタイトルの先頭またはディスクの先頭からの時間を入力し、[決定]を押すと再生が始まります。詳しくは、「再生したい位置の時間を指定する」(➡ **19**ページ)をご覧ください。

● CHAP. チャプター (DVDビデオ)
DVDビデオの見たいチャプターを指定します。数字ボタンでチャプター番号を入力し、[決定]を押すと再生が始まります。

● 1/3 音声言語/音声 (DVDビデオ / ビデオCD / スーパービデオCD)
複数の音声言語/音声を持つディスクの再生中に音声を切り換えます。[▲/▼]で音声を選び、[決定]を押すと切り換わります。

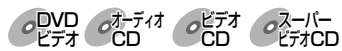
● 1/2 字幕 (DVDビデオ / スーパービデオCD)
字幕機能を持つディスクの再生中、字幕をなしにしたり、他の字幕に切り換えます。[▲/▼]で字幕を選び、[決定]を押すと切り換わります。

● 1/3 アングル (DVDビデオ)
複数のアングルを持つDVDビデオの再生中に、アングルを切り換えます。[▲/▼]でアングルを選び、[決定]を押すと切り換わります。

● PROG. プログラム (オーディオCD / ビデオCD / スーパービデオCD)
プログラム再生をするときに選びます。
ディスクの再生が停止しているときに使います。詳しくは、「好きな順番で再生する」(➡ **23**ページ)をご覧ください。

● RND. ランダム (オーディオCD / ビデオCD / スーパービデオCD)
ランダム再生をするときに選びます。
ディスクの再生が停止しているときに使います。詳しくは、「無作為な順番で再生する」(➡ **24**ページ)をご覧ください。

くり返し再生する (リピート/A-Bリピート再生)

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

再生中のディスクの全曲、または特定のチャプターやトラックがくり返し再生できます。また指定した範囲だけをくり返し再生(A-Bリピート再生)することもできます。

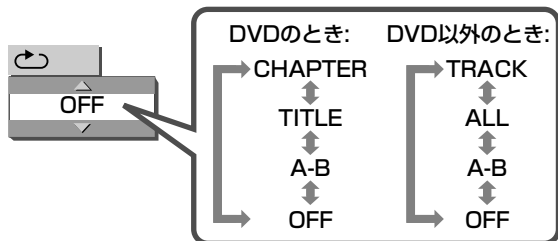
<DVDビデオ　:再生中に>
<オーディオCD　:再生または停止中に>
<ビデオCD/スーパービデオCD　:PBCオフで再生または停止中に>

- **A-Bリピート再生は、再生中にのみ設定できます。**
- **ディスクによっては、くり返し再生できないことがあります。**

1 [画面表示]を2回押してメニューバーを表示させる

2 ◀/▶を押して☞を[OFF]に合わせ、[決定]を押す

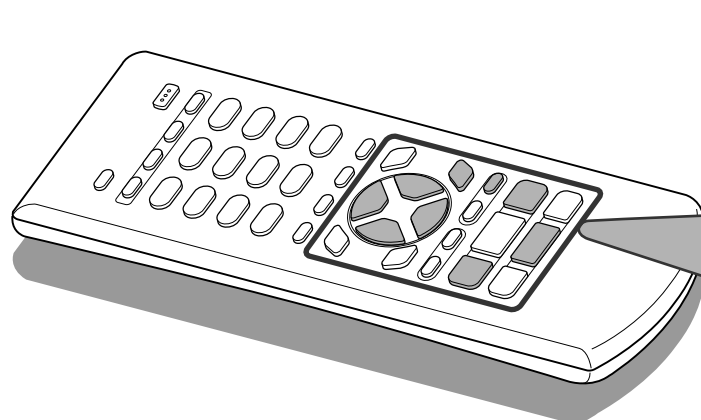
3 ▲/▼を押してリピートモードを選ぶ

押すごとに次のようにモードが切り換わります。

- リピートモードは表示窓とテレビ画面に下図のように表示されます。

表示窓	テレビ画面	リピートモード
1	CHAPTER(DVD)	現在のチャプター
	TRACK(DVD以外)	現在のトラック
	TITLE(DVD)	現在のタイトル
	ALL(DVD以外)	全トラック
	A-B(再生中のみ)	AポイントとBポイントの間
消灯	OFF	リピート再生のモードを解除します。

4 再生したいモードで、[決定]を押す

選んだリピートモードがメニューバーに表示され、リピート再生が始まります。

- A-Bリピート再生を選んだときは、くり返したい部分の先頭(Aポイント)と終わり(Bポイント)で**[決定]**を押します。
  メニューバーに[A-B]が表示され、指定した部分だけがくり返し再生されます。

リピート再生をやめるときは

[停止(■)]を押します。

DVDビデオ/ビデオCD/スーパービデオCD:
再生が停止します。リジューム設定(➡ 32ページ)が「オフ」のときはリピート再生が解除されます。「オン」または「ディスクリジューム」のときは解除されません。

オーディオCD:再生が停止し、リピート再生は解除されます。

リピート再生を解除するときは

1～**3**の手順で表示窓のリピートモードを消します。

お知らせ

- A-Bリピート中にメニューバーの[A-B]に☞を合わせ、**[決定]**を押しても解除されますが、通常の再生は続きます。
- **[次スキップ(▶▶|)]**または**[前スキップ(|◀◀)]**を押しても、A-Bリピート再生は解除されます。

ご注意

- タイトルまたはトラックをまたがるA-Bリピート再生はできません。
- プログラム再生中やランダム再生中、またはリピート再生中にA-Bリピート再生はできません。

好きな順番で再生する(プログラム再生)

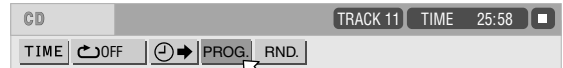
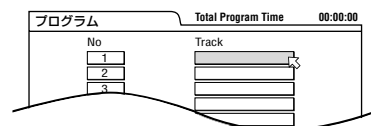
オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

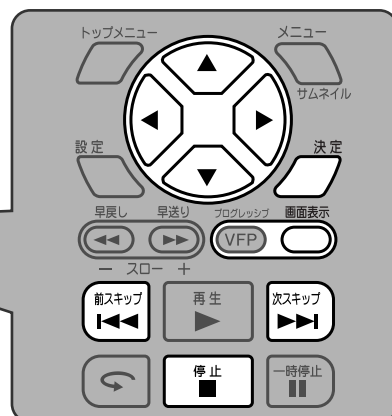
再生するトラックの順番を、最大99トラックまで自由に決めることができます。同じトラックを2回以上プログラム再生することもできます。

- **プログラム再生中に、リピート再生をすることもできます。**

1 停止中に[画面表示]を2回押してメニューバーを表示させる

2 ◀/▶を押して☞を[PROG.]に合わせ、[決定]を押す

例:オーディオCDのとき

プログラム画面が表示されます。

表示窓に「**PROG**」が点灯されます。

次ページに続く

ステータスバー、メニューバーを使う(つづき)

好きな順番で再生する (プログラム再生)(つづき)

3 数字ボタン(1～10、+10)を使って再生したい順にトラック番号を選ぶ

99トラックまで設定することができます。

・プログラムの設定を間違えたときは削除したいところまで[▲/▼]を押して↖を動かし、[キャンセル]を押します。

数字ボタンの使いかた
番号「5」を選ぶには　：[5]を押します。
番号「24」を選ぶには：[+10] ➡ [+10] ➡ [4]と押します。
番号「30」を選ぶには：[+10] ➡ [+10] ➡ [10]と押します。

4 [再生]を押して再生する

プログラムした順番で再生が始まります。

プログラムの内容を確認するには

- プログラム再生中に[停止(■)]を押す
  プログラム再生が停止し、プログラム画面が表示されます。プログラムの内容を確認することができます。
- プログラム再生中にメニューバーを表示させ、↖を[PROG.]に合わせて[決定]を押す
  プログラム画面が表示されます。プログラムの内容を確認することができます。

プログラム再生を途中でやめるには

[停止(■)]を押します。
プログラム画面が表示されます。

プログラム画面を消すには

[画面表示]を押します。
・プログラムの内容は消去されません。
[再生(▶)]を押すと、再びプログラム再生が始まります。

プログラムの内容を消去するには

停止中に、プログラム画面を表示させて[停止(■)]を押します。すべてのプログラム内容が消去されます。

お知らせ

- オーディオCDのプログラム再生中に、[次スキップ(▶▶|)]を押すと次にプログラムされているトラックにスキップし、[前スキップ(|◀◀)]を押すと再生中のトラックの頭に戻ります。
- プログラムされたすべてのトラックの再生が終わると停止しますが、プログラムの内容は残ります。
- 次の操作をするとプログラムの内容が消去されます。
  －ディスクを取り出す
  －電源を「切」にする

無作為な順番で再生する(ランダム再生)

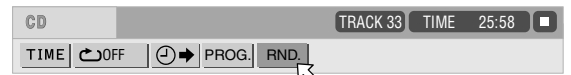
オーディオCD　ビデオCD　スーパービデオCD

すべてのトラックをランダム(無作為)な順番で一度ずつ再生することができます。

・ランダム再生中に、リピート再生をすることもできます(➡ 23ページ)。

1 停止中に[画面表示]を2回押してメニューバーを表示させる

2 ◀/▶を押して↖を RND. に合わせる

例：オーディオCDのとき

表示窓に「RND」が点灯されます。

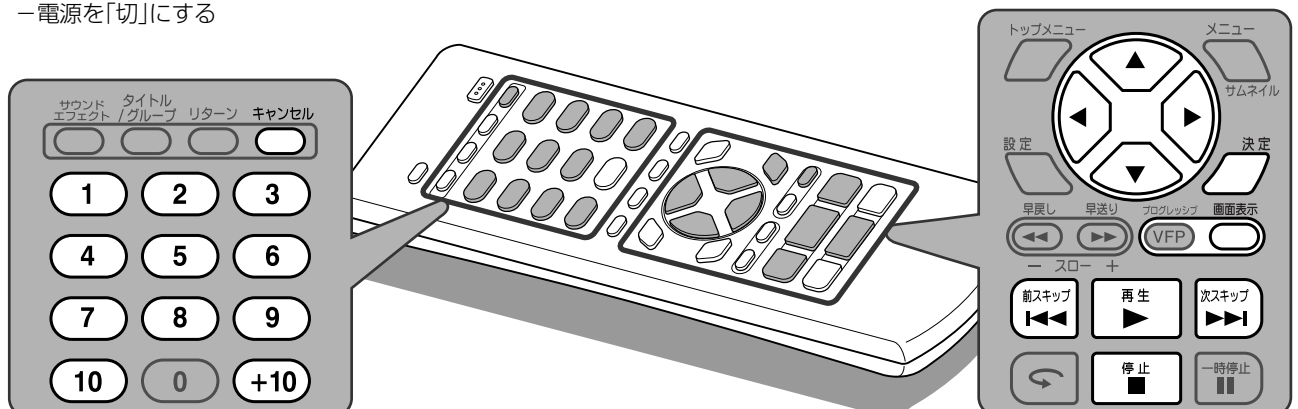
3 [決定]を押す

ランダム再生が始まります。
すべてのトラックの再生が終了すると、ランダム再生は解除されます。

ランダム再生をやめるには

[停止(■)]を押します。
ランダム再生は解除されます。

お知らせ

次の操作をするとランダム再生は解除されます。
- ディスクを取り出す
- 電源を「切」にする

音楽・映像ファイルを再生する

再生できるファイルについて

本機は、CD-R/RWに記録された、以下の音楽・映像ファイルを再生することができます。

・MP3ファイル
　サンプリング周波数44.1kHz、ビットレート128kbpsで作成されたファイルを推奨します。
　– ID3タグには対応しません。
　– MP3iやMP3 PROファイルは再生できません。

・JPEGファイル
　解像度640×480で作成されたベースライン方式のファイルを推奨します。
　– 解像度5120×3413以上のベースライン方式のファイルは再生できません。
　– 解像度2048×1536以上の「プログレッシブ」方式のファイルは再生できません。
　– お使いのテレビによっては、画像の周囲が隠れて表示される場合があります。

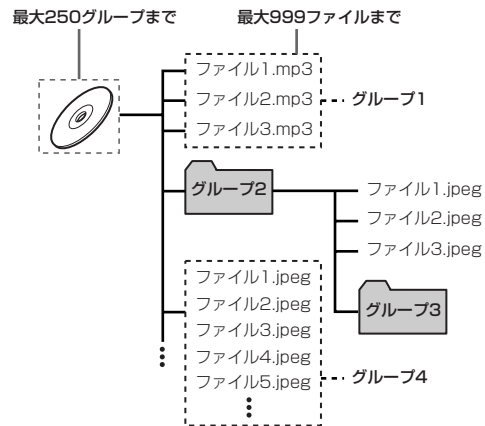
・MPEG-4ファイル
　シンプルプロファイル、ASF（「用語解説」➡ 42ページ）フォーマットで記録されたファイルを再生することができます。
　– パソコンなどで作成したシンプルプロファイルは、再生できない場合があります。
　– 再生される映像の大きさは、デジタルムービーなどで記録されたときと同じになるので、テレビ画面上では小さくなります。
　– 記録時のフォーマットの制約のため、再生される映像の画質は粗くなります。
　– デジタルムービーの機種、記録状態によっては、再生できない場合があります。

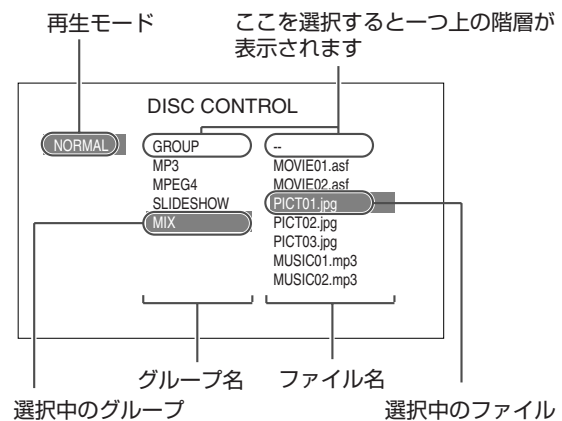
いずれのファイルにも拡張子を正しく付ける必要があります。

お知らせ
• ディスクの読み取りにかかる時間は、記録されたグループやファイルの数によって異なります。
• ディスクの特性や記録状態によっては、再生できない場合もあります。

ファイル/フォルダ（グループ）について

通常ファイルは、種類別、ジャンル別などのフォルダとして、まとめて分類します。さらに、ファイル/フォルダの階層構造をつくることもできます。
・識別できるグループの階層は5階層までです。

本書ではフォルダを「**グループ**」と呼びます。
本機は、1つのCD-R/RWにつき最大250グループまで、1グループ内に最大999ファイルまでを識別し再生することができます。
これらを超えるグループやファイルは再生できません。
・再生できないファイルがある場合、それらもファイルとして数えます。
・再生できるファイルがどのグループにも含まれないときは、そのファイルはファイル形式ごとに一つのグループとして扱われます。

コントロール画面について

MP3/JPEG/MPEG-4ファイルを含むCD-R/RWを本機に挿入すると、コントロール画面が表示されます。コントロール画面からファイルを選んで再生します。
・ファイル/グループの階層構造によっては、コントロール画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

・ファイル名やグループ名に半角英数字以外の文字を使用すると、正しく表示されません。また、表示できる最大文字数は拡張子抜きで、12文字までです。
・コントロール画面に表示されるファイルの順序は、拡張子のアルファベット順（asf、jpeg、mp3）になります。

作成時の注意

ファイル/グループを作成するときは次のことに注意してください。
・**正しい拡張子を付ける（大文字小文字の混在も可）**
　MP3ファイル　　「.MP3」「.mp3」
　JPEGファイル　　「.JPEG」「.JPG」「.jpeg」「.jpg」
　MPEG-4ファイル 「.ASF」「.asf」
・**ファイル/グループ名には半角英数字のみを使用し、最大12文字までとする**

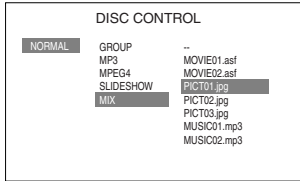
CD-R/RWディスクを作成するときは次のことに注意してください。
・**ディスクフォーマットを「ISO 9660」にする**
・**パケットライト方式（UDFファイル）は使わない**
・**マルチセッション数は5以内にする（それ以上は再生できません）**

音楽・映像ファイルを再生する（つづき）

基本操作

コントロール画面からグループやファイルを選んで再生します。

＜コントロール画面表示中に＞

1 ▲/▼を押してグループを選び、決定を押す

- 選んだグループ内のすべてのファイルが、コントロール画面の右側に拡張子順に表示されます。
- グループを選び直すときは、[◀]を押して、再度グループを選びます。

2 ▲/▼を押してファイルを選び、再生▶を押す

選んだファイルから再生が始まります。
選んだグループ内の最後のファイルが再生されると停止します。

- [次スキップ(▶▶|)]または[前スキップ(|◀◀)]を押すと、リスト内のファイルが7つずつ切り換わります。
- [決定]を押したときは、選んだファイルのみ再生されます。
- [数字(1〜10、+10)]を押したときは、選んだファイルから順番に再生されます。

数字ボタンの使いかた

番号「5」を選ぶには　：[5]を押します。
番号「24」を選ぶには：[+10] ➡ [+10] ➡ [4]と押します。
番号「30」を選ぶには　：[+10] ➡ [+10] ➡ [10]と押します。

再生をやめるには

[停止(■)]を押します。

おしらせ

- ファイルの記録状態によっては、表示窓に再生経過時間が正しく表示されないことがあります。
- コントロール画面が表示されている状態で、5分以上操作をしなかったときは、スクリーンセーバーが働き、コントロール画面が消えます（スクリーンセーバーを「オン」に設定しているとき ➡ **31**ページ）。

いろいろな再生をする

一時停止、拡大、回転、反転などの再生ができます。ファイルによっては、使えない機能があります。

一時停止をする

再生中に一時停止を押す

再生が一時停止します。

再生を始めるには

[再生(▶)]を押します。
通常の再生が始まります。

映像を拡大する

＜JPEG/MPEG-4ファイルの再生中に＞

ズームを押す

- ボタンを押すごとに、拡大の倍率が次のように段階的に変わります。

JPEGファイル

→ 1.5倍 → 2倍 → 4倍 → 1倍（ズーム解除）→

MPEG-4ファイル

→ 2倍 → 4倍 → 1倍（ズーム解除）→

- JPEGファイルでは、解像度が640×480以上のファイルのみに4倍ズームが働きます。
- MPEG-4ファイルでは、解像度によって4倍ズームが働かないことがあります。

拡大する位置を変えるには（JPEGファイルのみ）

JPEGファイル再生中に[◀/▶/▲/▼]を押します。

- [◀]を押すと、画面上に「PAN LEFT」と表示されます。
- [▶]を押すと、画面上に「PAN RIGHT」と表示されます。
- [▲]を押すと、画面上に「PAN UP」と表示されます。
- [▼]を押すと、画面上に「PAN DOWN」と表示されます。

映像を通常のサイズに戻すには

[ズーム]をくり返し押して1倍を選びます。

映像を回転・反転表示する

＜JPEGファイルの再生中に＞

◀/▶/▲/▼を押す

画面上に「ROTATING」と表示されます。

- [◀]を押すごとに、画像が反時計回りに90°回転します。
- [▶]を押すごとに、画像が時計回りに90°回転します。
- [▲]を押すごとに、画像が180°回転し、さらに左右反転します。
- [▼]を押すごとに、画像が左右反転します。

再生中の表示について

- ファイルの再生中、テレビ画面上に次のメッセージが表示されることがあります。

「JPEG DATA ERROR」
：本機で再生できないJPEGファイルのとき
「JPEG DATA CORRUPTED」
：再生中のファイルの一部分が読み込めなかったとき
「NEXT」　：次のファイルにスキップするとき
「PREVIOUS」：前のファイルにスキップするとき
「SELECT」　：サムネイル画面（➡ **27**ページ）で画像を選んだとき

サムネイルから静止画を選ぶ

ディスクに収録されているJPEGファイルをテレビにサムネイル（縮小画像）で表示させ、そこから選んで再生できます。
- **ディスクにあるすべてのJPEGファイルを9つずつサムネイルで見ることができます。**

<コントロール画面でJPEGファイルの選択中に>

1 [メニュー/サムネイル]を1秒以上押す

選択中のファイルを先頭に、そのグループ内のJPEGファイルがサムネイルで表示されます。
- グループを選んでいるときは、サムネイルは表示されません。

2 [◀]/[▶]/[▲]/[▼]を押して再生したいファイルのサムネイルを選び、[決定]を押す

選んだファイルが再生されます。
- 9つのサムネイルの中に、見たいファイルがないときは、[**次スキップ(▶▶|)**]または[**前スキップ(|◀◀)**]を押して、サムネイル画面を切り換えます。

カスタムオープニング画面を設定する

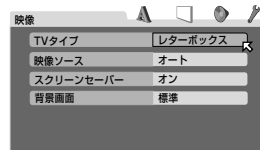
- **本機にはオープニング画面にお好みのJPEG画像を表示する機能（カスタムオープニング画面）があります。**
- **本機は、再生中の画像を1枚だけ保存することができます。新しい画像を保存するごとに、前の画像は消去されます。**

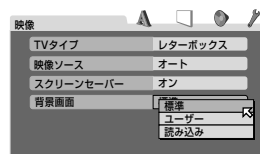
<コントロール画面表示中に>

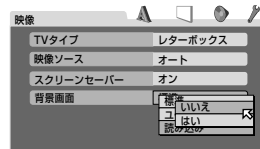
1 [▲]/[▼]を押してグループを選び、[決定]を押す

2 [▲]/[▼]を押してファイルを選び、[決定]を押す

選んだ画像が再生されます。

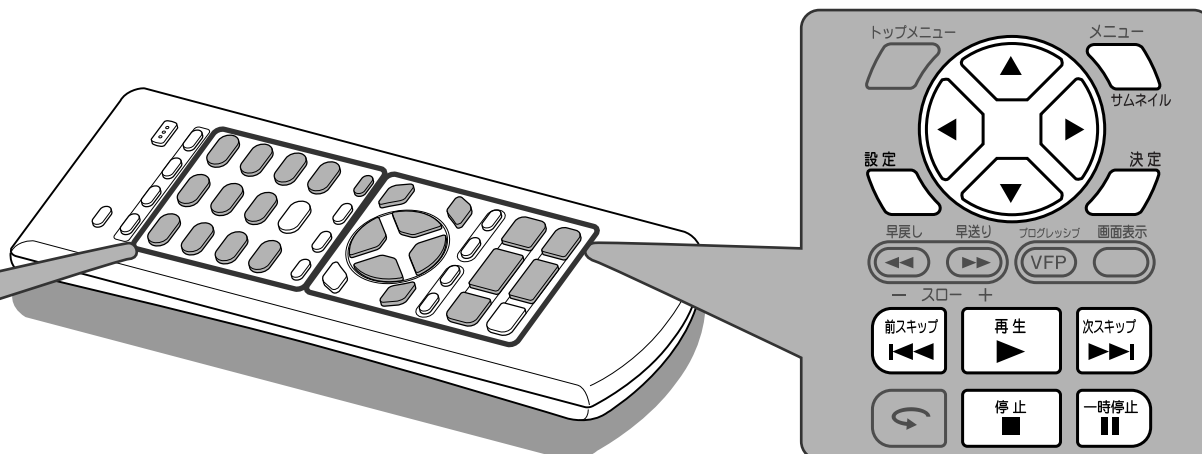
3 [設定]を押して初期設定メニューを表示させ、[◀]/[▶]を押して「映像メニュー」を表示させる

4 [▲]/[▼]を押して「背景画面」を選び、[決定]を押す

プルダウンメニューが表示されます。

5 [▲]/[▼]を押して「読み込み」を選び、[決定]を押す

取り込むかどうかを決めるプルダウンメニューが表示されます。

6 [▲]/[▼]を押して「はい」を選び、[決定]を押す

再生中の画像が保存され、オープニング（背景画面）が変更されます。
設定メニューを消すには[**設定**]を押します。

お買い上げ時のオープニング画面に戻すには
手順**5**で「標準」を選び、[**決定**]を押します。

応用操作

音楽・映像ファイルを再生する(つづき)

JPEGファイルを連続再生する（スライドショー）

JPEGファイルを連続再生(スライドショー)します。
・再生するJPEGファイルのグループにMP3ファイルが含まれているときは、続けて再生されます。

<コントロール画面でJPEGファイルの選択中に>

再生を押す
スライドショー再生が始まり、次々とJPEGファイルが再生されます。
・ファイルの容量によって、画像の表示にかかる時間が変わります。

スライドショーの効果を設定するには
[スライドエフェクト]を1秒以上押す。
ボタンを1秒以上押すごとに、画像の表示方法が変化します。
・テレビ画面上に「SLIDE EFFECT MODE：」と現在のモードが表示されます。
・「プログレッシブ」方式のJPEGファイルでは、スライドショーの効果を変えることはできません。

モード	モードの説明
1	スクロールワイプ1 :画面上端から下に向かって現れます。
2	スクロールワイプ2 :画面下端から上に向かって現れます。
3	シャッターワイプ1 :画面の上下から中央に向かって現れます。
4	シャッターワイプ2 :画面中央から上下に向かって現れます。
5	ブラインドワイプ1 :画面4カ所から下に向かって現れます。
6	スライドワイプ1 :画面左端から右に向かって現れます。
7	スライドワイプ2 :画面右端から左に向かって現れます。
8	ドアワイプ1 :画面の左右から中央に向かって現れます。
9	ドアワイプ2 :画面の中央から左右に向かって現れます。
10	ウィンドーワイプ :画面の端から中央に向かって現れます。
11	ブラインドワイプ2 :画面4カ所から右に向かって現れます。
RND	モード1～11の方法から画像ごとに無作為に選びます。
NONE	効果をつけません。

スライドショーを一時停止するには
[一時停止(❚❚)]を押します。
再生中の静止画が表示されます。
・**[再生(▶)]**を押すと、スライドショーの続きが始まります。

スライドショーをやめるには
[停止(■)]を押します。
コントロール画面が表示されます。
・**[再生(▶)]**を押すと、スライドショーの続きが始まります。

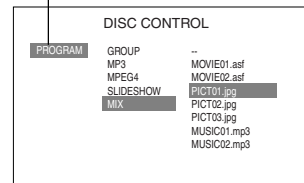
ご注意
スライドショー再生中は、サムネイルを表示することができません。

好きな順番で再生する(プログラム再生)

ファイルを好きな順番で再生します。同じファイルを複数回再生することもできます。
・最大99ファイル分の順番を決めることができます。

<停止中に>

1 ◀を押して再生モードにカーソルを合わせる

2 決定をくり返し押して「PROGRAM」を表示させる
「PROGRAM」が表示されるまでくり返し押します。

表示窓に「PROG」が点灯されます。

3 ▶を押してグループ名にカーソルを合わせる

4 ▲/▼をくり返し押してグループを選び、決定を押す

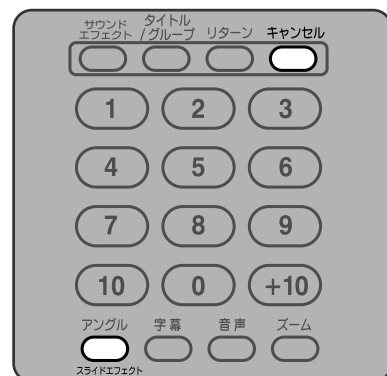
5 ▶を押してファイル名にカーソルを合わせる

6 ▲/▼をくり返し押してファイルを選び、決定を押す
選んだファイルがプログラムされます。1曲目がプログラムされると、画面上にファイル名が表示されます。

7 手順3～6をくり返し次のファイルをプログラムする

8 再生を押す
プログラム再生が始まります。

プログラム再生を途中でやめるには
[停止(■)]を押します。
・再生は停止しますがプログラムは消去されません。

プログラム再生をやめるには
もう一度手順**1**、**2**を行って再生モード表示を[NORMAL]にします。

プログラムファイルを消すには
手順6で、プログラムに登録されている消したいファイルにカーソルを合わせ、[キャンセル]を押します。
ファイルを全部消すとプログラムが消去されます。
電源を「切」にしたり、ディスクを取り出したときも、プログラムが消去されます。

ご注意
プログラムに登録したファイルの間に、新たにファイルを挿入することはできません。

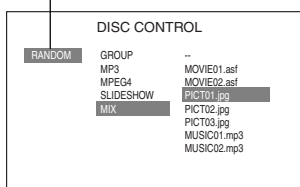
無作為な順番で再生する(ランダム再生)

ファイルを無作為(ランダム)な順番で再生することができます。
・**選択したグループのファイルが一度ずつ再生されます。**

<停止中に>

1 ◀を押して再生モードにカーソルを合わせる

2 決定をくり返し押して「RANDOM」を表示させる

「RANDOM」が表示されるまでくり返し押します。

表示窓に「RND」が点灯されます。

3 ▶を押してグループ名にカーソルを合わせる

4 ▲/▼をくり返し押してグループを選び、決定を押す

5 ▶を押してファイル名にカーソルを合わせ、再生を押す

ランダム再生が始まります。
選んだグループ内の全ファイルが再生されると停止します。

ランダム再生をやめるには
[停止(■)]を押します。

ランダム再生をやめるには
もう一度手順1、2を行って再生モード表示を[NORMAL]にします。

くり返し再生する

グループまたはすべてのファイルをくり返し(リピート)再生することができます。

<停止中に>

1 ◀を押して再生モードにカーソルを合わせる

2 決定をくり返し押す

[決定]を押すごとに再生モードが切り換わります。
次の3つのリピート再生が選べます。

コントロール画面	表示窓	モードの説明
REPEAT 1	↻ 1	現在選んでいるファイルをくり返す
REPEAT GROUP	↻	現在選んでいるグループをくり返す
REPEAT ALL	↻	すべてのファイルをくり返す
NORMAL	消灯	リピートモードの解除

3 ▶を押してグループ名にカーソルを合わせる

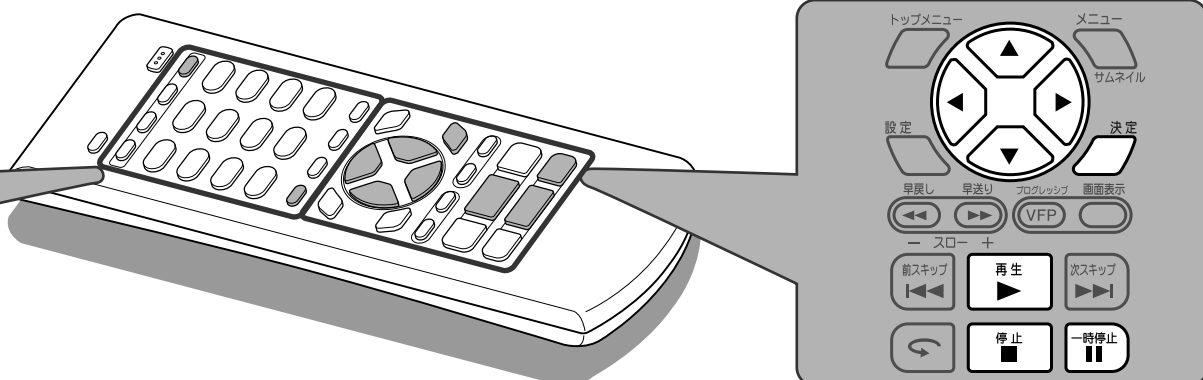
4 ▲/▼をくり返し押してグループを選び、決定を押す

「REPEAT ALL」を選んでいるときは、どのグループを選んでも全部のファイルが再生されます。

5 ▶を押してファイル名にカーソルを合わせ、再生を押す

リピート再生が始まります。
「REPEAT ALL」を選んでいるときは、どのファイルを選んでも全部のファイルが再生されます。

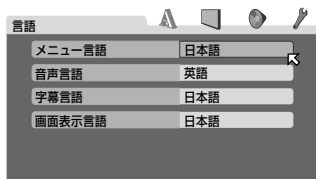
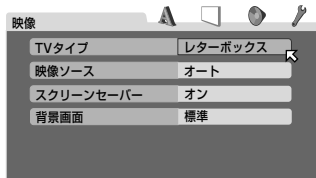
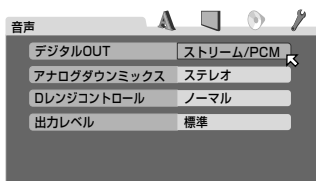
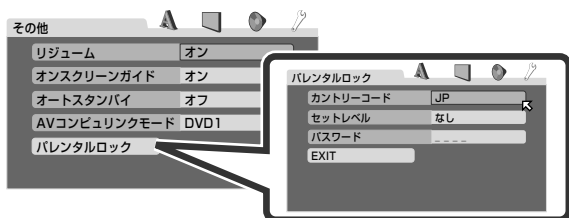
リピート再生をやめるには
[停止(■)]を押します。
ただし、リピート再生は解除されません。

リピート再生のモードを解除するには
もう一度手順1、2を行って再生モード表示を[NORMAL]にします。

初期設定を変更する

- 初期設定メニューが表示されているときは、ディスク再生が始められません。初期設定メニューを消してから、ディスク再生を始めてください。
- MP3/MPEG-4ファイルの再生中は、初期設定メニューを表示できません。またそれ以外のディスクの場合でも、再生中は変更できない項目があります。
- ワイドテレビをお使いの場合、初期設定画面の上下部分が隠れた状態で表示されることがあります。そのようなときは、テレビ側で画像サイズを変更してください。

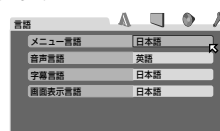
初期設定メニューについて

次の4つの設定メニューを使って、DVDプレーヤーの設定をします。

:言語メニュー　(➡ 31ページ)
DVDビデオ再生時の各言語設定と、本機の画面表示で使われる言語を設定します。

:映像メニュー　(➡ 31ページ)
映像出力の設定などをします。

:音声メニュー　(➡ 32ページ)
音声出力の設定をします。

:その他メニュー　(➡ 32ページ)
その他の設定をします。
DVDビデオの視聴制限(パレンタルロック)も設定できます(➡ **34**ページ)。

お買い上げ時の設定を変更する

例として「映像メニュー」の「スクリーンセーバー」の設定を変更します。

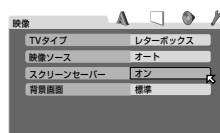
1 [設定]を押す

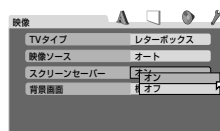
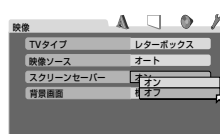
言語メニュー画面が表示されます。

- 再生中には選択できない項目もあります。

2 ◀/▶を押して映像メニューを表示させる

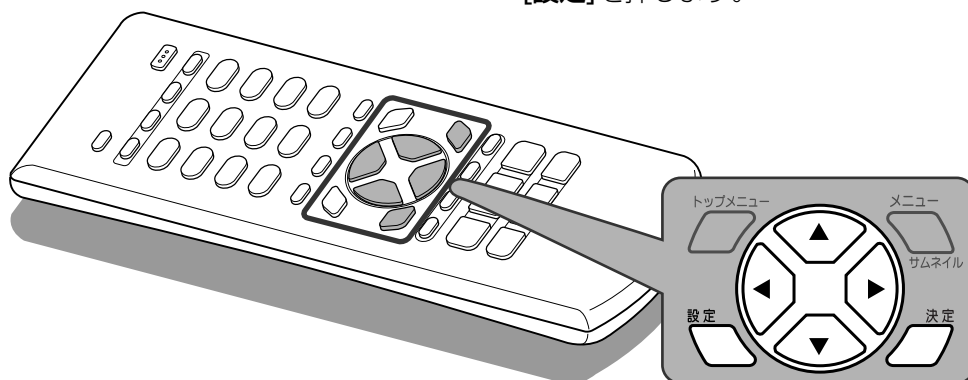
- ボタンを押すごとにメニュー画面が切り換わります。

3 ▲/▼を押してを「スクリーンセーバー」に合わせる

- 他の項目の設定により、選択できない項目がある場合があります。

4 [決定]を押す

選んだ項目の選択項目が表示されます。

5 ▲/▼を押してをお好みの設定に合わせる(➡ 31、32ページ)

6 [決定]を押す

設定が変更されます。

設定メニューを消すには
[設定]を押します。

初期設定メニュー項目一覧

・設定を変更するときは、「お買い上げ時の設定を変更する（➡ **30**ページ）」をご覧ください。

［網掛け］がお買い上げ時の設定状態です。

	項目	設定内容		
言語メニュー	メニュー言語	DVDのメニュー画面に表示される言語を選びます。 英語⬌スペイン語⬌フランス語⬌中国語⬌ドイツ語⬌ イタリア語⬌日本語⬌AAからZUまでの言語コード⬌ 言語コードは、33ページの言語コード一覧表をご覧ください。		選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
	音声言語	DVDの音声言語を選びます。 英語⬌スペイン語⬌フランス語⬌中国語⬌ドイツ語⬌ イタリア語⬌日本語⬌AAからZUまでの言語コード⬌ 言語コードは、33ページの言語コード一覧表をご覧ください。		選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
	字幕言語	DVDの字幕言語を選びます。 オフ⬌英語⬌スペイン語⬌フランス語⬌中国語⬌ドイツ語⬌ イタリア語⬌日本語⬌AAからZUまでの言語コード⬌ 言語コードは、33ページの言語コード一覧表をご覧ください。		選択したメニュー言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
	画面表示言語	設定メニューなどの画面上に表示される表示言語を選びます。 日本語⬌英語		
映像メニュー	TVタイプ	お使いのテレビに合わせて画面表示方法を選びます。		
	16:9画面	16:9	：普通のワイドテレビと接続したとき、この設定にします。	
	レターボックス画面	レターボックス	：通常のテレビ（縦横比4:3）に接続したとき、この設定にします。上下に黒い帯がある状態で映ります。左右両端の映像は切り取られません。	
	パンスキャン画面	パンスキャン	：通常のテレビ（縦横比4:3）に接続したとき、この設定にします。左右両端が切り取られた状態で映ります。上下に黒い帯は映りません。	ディスクが4:3パンスキャンに対応していないときは、パンスキャンを選択していてもレターボックス表示になります。
	映像ソース ディスクの中には「オート」モードで正しく再生されないものがあります。特定のDVDビデオで映像にスジ状のノイズが入ったり不鮮明なときは、設定を変えてください。	ディスクに収録されている映像素材に応じて、最適な画質で再生するための設定を選びます。		
		オート	：素材のタイプ（ビデオ/フィルム）を自動判別します。ビデオ素材とフィルム素材が混在した映像の再生に適しています。通常はこの設定にします。	
		フィルム	：フィルム素材またはプログレッシブスキャン方式で記録された映像ソースの再生に適しています。	
		ビデオ（ノーマル）	：動きの少ないビデオ素材の映像の再生に適しています。	
		ビデオ（アクティブ）	：動きの激しいビデオ素材の映像の再生に適しています。	
	スクリーンセーバー	画面の焼き付きを防止するスクリーンセーバーを使うか、使わないかを選びます。		
		オン	：静止画が5分以上続くと画面が暗くなります。	
		オフ	：スクリーンセーバーは機能しません。	
	背景画面	本機のオープニング画面を変更するときや、新しい画面を登録するときに選びます。 登録の手順については、**27**ページをご覧ください。登録できる画像は一つです。新しく登録すると前の画像は消去されます。		
		標準	：お買い上げ時のオープニング画面を表示させたいとき選びます。	
		ユーザー	：登録した画像をオープニング画面として表示させたいとき選びます。	
		読み込み	：お好みの画像を登録したいとき選びます。	

初期設定を変更する(つづき)

初期設定メニュー項目一覧(つづき)

・設定を変更するときは、「お買い上げ時の設定を変更する(➡ **30**ページ)」をご覧ください。

がお買い上げ時の設定状態です。

	項目	設定内容	
音声メニュー	デジタルOUT	本機のデジタル音声出力端子に接続する機器の種類に合わせて、設定します(デジタル音声出力端子に何もつながない場合は設定する必要はありません)。 設定項目と出力信号の関係については、**33**ページの表をご覧ください。	
		PCMのみ	：リニアPCMのみに対応しているデジタル端子付きアンプやMDレコーダーなどと接続するとき、この設定にします。
		DOLBY DIGITAL/PCM	：ドルビーデジタルデコーダーの機能を備えたアンプ、あるいはドルビーデジタルデコーダーと接続するとき、この設定にします。
		ストリーム/PCM	：DTSデコーダー、ドルビーデジタルデコーダーの機能を備えたアンプ、またはそれぞれのデコーダーと接続するとき、この設定にします。
	アナログダウンミックス	サラウンドオーディオで収録されたDVDビデオを正しく再生できるように、接続する機器に合わせて選びます(この設定はDVDビデオを再生するときのみ影響します)。	
		ドルビーサラウンド	：本機のアナログ音声出力をドルビーサラウンド対応のステレオアンプやレシーバーあるいはテレビに接続するとき、この設定にします。
		ステレオ	：本機のアナログ音声出力を通常のステレオアンプやレシーバーあるいはテレビに接続するとき、この設定にします。
	Dレンジコントロール	ドルビーデジタルの音声を再生しているときにダイナミックレンジ(最大音声と最小音声の差)を圧縮(コンプレッション)することができます。夜間にサラウンドをお楽しみいただくときに使います。	
		ワイドレンジ	：ダイナミックレンジを圧縮しないでお楽しみいただけます。
		ノーマル	：通常はこの設定にします。
		TVモード	：本機をテレビにつないでいるとき選びます。小さい音でもよく聞こえます(ダイナミックレンジTVモード)。
	出力レベル	音声出力のレベルを小さくするときに使います。	
		標準	：通常はこの設定にします。
		小	：出力レベルが小さくなります。
その他メニュー	リジューム	リジューム再生(➡ **14**ページ)を使うか、使わないかを選びます。リジューム再生を設定すると、ディスクを停止した位置が記憶されます。次に再生を始めるときに前回停止した位置から再生できます。 ・停止位置と一緒に、そのとき設定している音声言語、字幕言語、アングルも記憶されます。 ・「ディスクリジューム」を設定しているとき、一度リジューム設定を「オフ」にしても、もう一度「ディスクリジューム」に戻せば前回記憶した位置から再生できます。	
		オン	：リジューム機能が働きます。
		オフ	：リジューム機能は働きません。
		ディスクリジューム	：最大30枚までのディスクにリジューム機能が働きます。ディスクを取り出しても停止位置が記憶されます(30枚を超えて記憶させたときは古い順に取り消されます)。
	オンスクリーンガイド	再生している映像に重ねてディスクの収録状態や本機の動作状態を示すマーク(▶、…など)や文字を表示するか、表示しないかを選びます。	
		オン	：マークや文字が表示されます。
		オフ	：マークや文字が表示されません。
	オートスタンバイ	60分または30分間、本機の停止状態が続いたとき、本機の電源を自動的に「切(スタンバイ)」にするか、しないかを選びます。	
		60	：60分間本機の停止状態が続くと、電源が「切」になります。
		30	：30分間本機の停止状態が続くと、電源が「切」になります。
		オフ	：オートスタンバイ機能は働きません。
	AVコンピュリンクモード	ビクターのテレビやAVアンプなどと連動させるとき、接続した機器の入力端子に合わせて設定します(➡ **37**ページ)。	
		DVD1	：テレビのビデオ3入力またはAVアンプのDVD入力に接続したとき選びます。
		DVD2	：テレビのビデオ1入力に接続したとき選びます。
		DVD3	：テレビのビデオ2入力に接続したとき選びます。
	パレンタルロック	視聴制限(パレンタルロック)を設定します。この項目を選ぶと、パレンタルロック設定画面が表示されます。 設定方法については、**34**ページをご覧ください。	

〈言語コード一覧〉

コード	言　語	コード	言　語	コード	言　語	コード	言　語
AA	アファル語	GD	スコットランドゲール語	MI	マオリ語	SL	スロベニア語
AB	アブバジア語	GL	ガルシア語	MK	マケドニア語	SM	サモア 語
AF	アフリカーンス語	GN	グアラニ語	ML	マラヤーラム語	SN	ショナ語
AM	アムハラ語	GU	グジャラード語	MN	モンゴル語	SO	ソマリ語
AR	アラビア語	HA	ハウサ語	MO	モルダビア語	SQ	アルバニア語
AS	アッサム語	HI	ヒンディー語	MR	マラータ語	SR	セルビア語
AY	アイマラ語	HR	クロアチア語	MS	マライ（マレー）語	SS	シスワティ語
AZ	アゼルバイジャン語	HU	ハンガリー語	MT	マルタ語	ST	セストゥ語
BA	バシキール語	HY	アルメニア語	MY	ミャンマー語	SU	スンダ語
BE	ベラルーシ語	IA	国際語	NA	ナウル語	SV	スウェーデン語
BG	ブルガリア語	IE	国際語	NE	ネパール語	SW	スワヒリ語
BH	ビハーリー語	IK	イヌピック語	NL	オランダ語	TA	タミール語
BI	ビスラマ語	IN	インドネシア語	NO	ノルウェー語	TE	テルグ語
BN	ベンガル語、バングラ語	IS	アイスランド語	OC	プロバンス語	TG	タジク語
BO	チベット語	IW	ヘブライ語	OM	（アフォン）オロモ語	TH	タイ語
BR	ブルトン語	JI	イディッシュ語	OR	オリヤー語	TI	ティグリニャ語
CA	カタロニア語	JW	ジャワ語	PA	パンジャブ語	TK	トゥルクメン語
CO	コルシカ語	KA	グルジア語	PL	ポーランド語	TL	タガログ語
CS	チェコ語	KK	カザフ語	PS	パシュトー語	TN	セツワナ語
CY	ウェールズ語	KL	グリーンランド語	PT	ポルトガル語	TO	トンガ語
DA	デンマーク語	KM	カンボジア 語	QU	ケチュア語	TR	トルコ語
DZ	ブータン語	KN	カンナダ語	RM	ラエティ-ロマン語	TS	ツォンガ語
EL	ギリシャ語	KO	韓国（朝鮮）語	RN	キルンディ語	TT	タタール語
EO	エスペラント語	KS	カシミール語	RO	ルーマニア語	TW	トウィ語
ET	エストニア語	KU	クルド語	RU	ロシア語	UK	ウクライナ語
EU	バスク語	KY	キルギス語	RW	キニヤルワンダ語	UR	ウルドゥー語
FA	ペルシャ語	LA	ラテン語	SA	サンスクリット語	UZ	ウズベク語
FI	フィンランド語	LN	リンガラ語	SD	シンド語	VI	ベトナム語
FJ	フィジー語	LO	ラオス語	SG	サンド語	VO	ヴラピュク語
FO	フェロー語	LT	リトアニア語	SH	セルボアクロアチア語	WO	ウォロフ語
FY	フリジア語	LV	ラトビア語、レット語	SI	シンハラ語	XH	コーサ語
GA	アイルランド語	MG	マダガスカル語	SK	スロバキア語	YO	ヨルバ語
						ZU	ズール語

〈デジタルOUTの設定と出力信号の内容一覧〉

<table>
<tr><th rowspan="2">再生するディスク</th><th colspan="3">「デジタルOUT」設定</th></tr>
<tr><th>ストリーム/PCM</th><th>DOLBY DIGITAL/PCM</th><th>PCMのみ</th></tr>
<tr><td>48/96kHz、16/20/24ビット
リニアPCMのDVDビデオ</td><td colspan="3">48 kHz、16ビットステレオのリニアPCM</td></tr>
<tr><td>DTSのDVDビデオ</td><td>DTSビットストリーム</td><td colspan="2">48 kHz、16ビットステレオのリニアPCM</td></tr>
<tr><td>ドルビーデジタルのDVDビデオ</td><td colspan="2">ドルビーデジタルビットストリー ム</td><td>48kHz、16ビット
ステレオのリニアPCM</td></tr>
<tr><td>オーディオCD/ビデオCD</td><td colspan="3">44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM</td></tr>
<tr><td>DTSのオーディオCD</td><td>DTSビットストリーム</td><td colspan="2">48 kHz、16ビットステレオのリニアPCM</td></tr>
<tr><td>MP3ファイルを記録したCD-R/RW</td><td colspan="3">リニアPCM</td></tr>
<tr><td>MPEG-4ファイルを記録した
CD-R/RW</td><td colspan="3">出力しません</td></tr>
</table>

お知らせ

著作権保護の設定がされていないDVDビデオの再生中は、20または24ビットの音声信号がデジタル音声出力端子から出力されることがあります。

DVDの視聴制限を設定する(パレンタルロック)

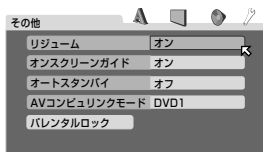
過激なシーンを含むDVDビデオを再生するときなど、ディスクが対応しているときパレンタルロックの設定に応じて、そのようなDVDビデオの視聴を制限することができます。
• 視聴を制限できるのは、視聴制限に対応しているDVDビデオのみです。

はじめに設定する

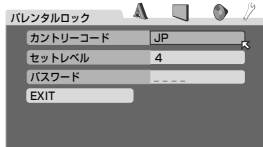
<停止中、またはディスクが入っていないときに>

1 設定を押す

設定メニューが表示されます。

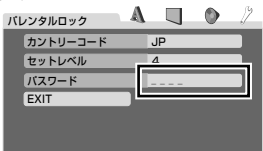
2 ◀/▶を押してその他メニューを表示させる

3 ▲/▼を押して☞を「パレンタルロック」に合わせ、決定を押す

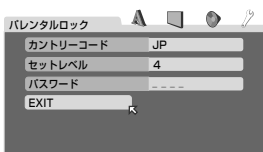
パレンタルロック設定画面が表示されます。

- はじめて設定するときは「カントリーコード」が選ばれます。

4 ▲/▼を使って設定項目を選び、決定を押す

カントリーコード：**36**ページの一覧表を参考に[▲/▼]でカントリコードを選び、[決定]を押します。

セットレベル：視聴制限のレベルを決めます。数値が小さいほど厳しくなります。[▲/▼]で数値(1～8)または「なし」を選び、[決定]を押します。

パスワード：数字ボタン(1～9、0)を押して4ケタの数字を入力し、[決定]を押します。この4ケタの数字がパスワードになります。

5 手順4をくり返して設定する

- パスワードを設定すると、「EXIT」が選ばれます。

6 決定を押す

その他メニューに戻ります。

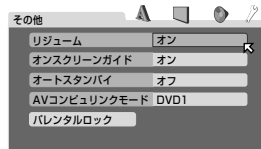
設定を変更する

- 現在のパスワードを忘れてしまったときは「8888」を入力してください。新しいパスワードを設定できるようになります。
- パスワードの入力を3回間違えると、パレンタルロックの設定変更ができなくなります。このとき☞が「EXIT」に移動し、動かせなくなります。[決定]を押してもう一度最初からやり直してください。

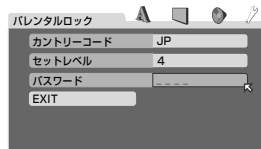
<停止中、またはディスクが入っていないときに>

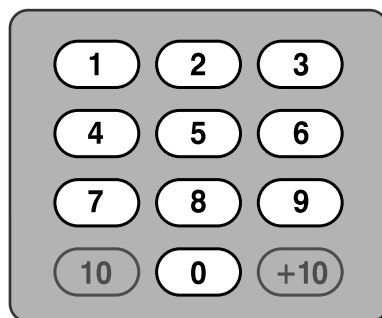
1 設定を押す

設定メニューが表示されます。

2 ◀/▶を押してその他メニューを表示させる

3 ▲/▼を押して☞を「パレンタルロック」に合わせ、決定を押す

パレンタルロック設定画面が表示されます。

- すでにパスワードを設定しているときは「パスワード」が選ばれます。

4 設定したパスワードを数字ボタン(1～9、0)を使って入力し、決定を押す

正しいパスワードが入力されたときは、☞が「カントリーコード」に移動します。

5 設定を変更する

カントリーコード：**36**ページの一覧表を参考に[▲/▼]でカントリーコードを選び、[決定]を押します。

セットレベル：視聴制限のレベルを決めます。数値が小さいほど厳しくなります。[▲/▼]で数値(1〜8)または「なし」を選び、[決定]を押します。

・カントリーコードを変更したときは、セットレベルも新しく設定する必要があります。

6 ▲/▼を押して☞を「パスワード」に合わせる

数字ボタン[1〜9、0]を押して新しいパスワードを入力し、[決定]を押します。

7 ▲/▼を押して☞を「EXIT」に合わせ、決定を押す

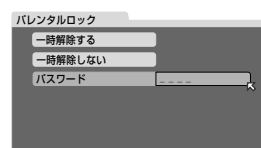
その他メニューに戻ります。

パレンタルロックを一時解除する

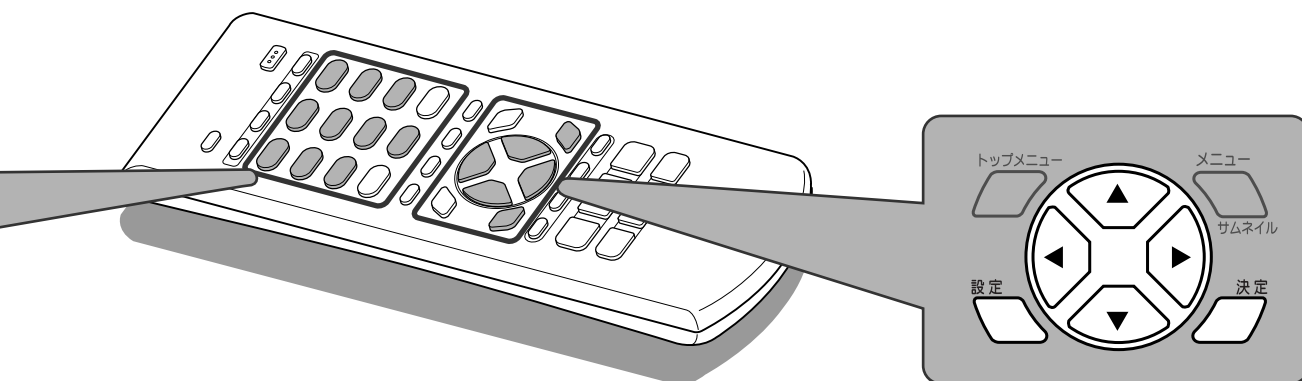
パレンタルロックを厳しく設定しているときは、再生しようとしても全く見ることができないことがあります。このようなときは、パレンタルロックを一時的に解除することができます。

1 再生中に下の画面が表示されたら、▲/▼を使って☞を「一時解除する」に合わせ、決定を押す

☞が「パスワード」に移動します。

・「一時解除しない」を選んだときは、このディスクを再生することはできません。本体の[▲(開/閉)]を押してディスクを取り出してください。

2 設定したパスワードを数字ボタン(1〜9、0)を使って入力し、決定を押す

正しいパスワードを入力するとパレンタルロックが一時解除され、ディスクが再生されます。

間違って入力した場合、「違います。やり直してください」と表示されますので、もう一度正しいパスワードを入力してください。

DVDの視聴制限を設定する(パレンタルロック)(つづき)

〈カントリーコード一覧〉

パレンタルロックの画面で表示されるカントリーコードの一覧です。

Code	Country
AD	Andorra
AE	United Arab Emirates
AF	Afghanistan
AG	Antigua and Barbuda
AI	Anguilla
AL	Albania
AM	Armenia
AN	Netherlands Antilles
AO	Angola
AQ	Antarctica
AR	Argentina
AS	American Samoa
AT	Austria
AU	Australia
AW	Aruba
AZ	Azerbaijan
BA	Bosnia and Herzegovina
BB	Barbados
BD	Bangladesh
BE	Belgium
BF	Burkina Faso
BG	Bulgaria
BH	Bahrain
BI	Burundi
BJ	Benin
BM	Bermuda
BN	Brunei Darussalam
BO	Bolivia
BR	Brazil
BS	Bahamas
BT	Bhutan
BV	Bouvet Island
BW	Botswana
BY	Belarus
BZ	Belize
CA	Canada
CC	Cocos (Keeling) Islands
CF	Central African Republic
CG	Congo
CH	Switzerland
CI	Côte d'Ivoire
CK	Cook Islands
CL	Chile
CM	Cameroon
CN	China
CO	Colombia
CR	Costa Rica
CU	Cuba
CV	Cape Verde
CX	Christmas Island
CY	Cyprus
CZ	Czech Republic
DE	Germany
DJ	Djibouti
DK	Denmark
DM	Dominica
DO	Dominican Republic
DZ	Algeria
EC	Ecuador
EE	Estonia
EG	Egypt
EH	Western Sahara
ER	Eritrea
ES	Spain
ET	Ethiopia
FI	Finland
FJ	Fiji
FK	Falkland Islands (Malvinas)
FM	Micronesia (Federated States of)
FO	Faroe Islands
FR	France
FX	France, Metropolitan
GA	Gabon
GB	United Kingdom
GD	Grenada
GE	Georgia
GF	French Guiana
GH	Ghana
GI	Gibraltar
GL	Greenland
GM	Gambia
GN	Guinea
GP	Guadeloupe
GQ	Equatorial Guinea
GR	Greece
GS	South Georgia and the South Sandwich
GT	Guatemala
GU	Guam
GW	Guinea-Bissau
GY	Guyana
HK	Hong Kong
HM	Heard Island and McDonald Islands
HN	Honduras
HR	Croatia
HT	Haiti
HU	Hungary
ID	Indonesia
IE	Ireland
IL	Israel
IN	India
IO	British Indian Ocean Territory
IQ	Iraq
IR	Iran (Islamic Republic of)
IS	Iceland
IT	Italy
JM	Jamaica
JO	Jordan
JP	Japan
KE	Kenya
KG	Kyrgyzstan
KH	Cambodia
KI	Kiribati
KM	Comoros
KN	Saint Kitts and Nevis
KP	Korea, Democratic People's Republic of
KR	Korea, Republic of
KW	Kuwait
KY	Cayman Islands
KZ	Kazakhstan
LA	Lao People's Democratic Republic
LB	Lebanon
LC	Saint Lucia
LI	Liechtenstein
LK	Sri Lanka
LR	Liberia
LS	Lesotho
LT	Lithuania
LU	Luxembourg
LV	Latvia
LY	Libyan Arab Jamahiriya
MA	Morocco
MC	Monaco
MD	Moldova, Republic of
MG	Madagascar
MH	Marshall Islands
ML	Mali
MM	Myanmar
MN	Mongolia
MO	Macau
MP	Northern Mariana Islands
MQ	Martinique
MR	Mauritania
MS	Montserrat
MT	Malta
MU	Mauritius
MV	Maldives
MW	Malawi
MX	Mexico
MY	Malaysia
MZ	Mozambique
NA	Namibia
NC	New Caledonia
NE	Niger
NF	Norfolk Island
NG	Nigeria
NI	Nicaragua
NL	Netherlands
NO	Norway
NP	Nepal
NR	Nauru
NU	Niue
NZ	New Zealand
OM	Oman
PA	Panama
PE	Peru
PF	French Polynesia
PG	Papua New Guinea
PH	Philippines
PK	Pakistan
PL	Poland
PM	Saint Pierre and Miquelon
PN	Pitcairn
PR	Puerto Rico
PT	Portugal
PW	Palau
PY	Paraguay
QA	Qatar
RE	Réunion
RO	Romania
RU	Russian Federation
RW	Rwanda
SA	Saudi Arabia
SB	Solomon Islands
SC	Seychelles
SD	Sudan
SE	Sweden
SG	Singapore
SH	Saint Helena
SI	Slovenia
SJ	Svalbard and Jan Mayen
SK	Slovakia
SL	Sierra Leone
SM	San Marino
SN	Senegal
SO	Somalia
SR	Suriname
ST	Sao Tome and Principe
SV	El Salvador
SY	Syrian Arab Republic
SZ	Swaziland
TC	Turks and Caicos Islands
TD	Chad
TF	French Southern Territories
TG	Togo
TH	Thailand
TJ	Tajikistan
TK	Tokelau
TM	Turkmenistan
TN	Tunisia
TO	Tonga
TP	East Timor
TR	Turkey
TT	Trinidad and Tobago
TV	Tuvalu
TW	Taiwan, Province of China
TZ	Tanzania, United Republic of
UA	Ukraine
UG	Uganda
UM	United States Minor Outlying Islands
US	United States
UY	Uruguay
UZ	Uzbekistan
VA	Vatican City State (Holy See)
VC	Saint Vincent and the Grenadines
VE	Venezuela
VG	Virgin Islands (British)
VI	Virgin Islands (U.S.)
VN	Vietnam
VU	Vanuatu
WF	Wallis and Futuna Islands
WS	Samoa
YE	Yemen
YT	Mayotte
YU	Yugoslavia
ZA	South Africa
ZM	Zambia
ZR	Zaire
ZW	Zimbabwe

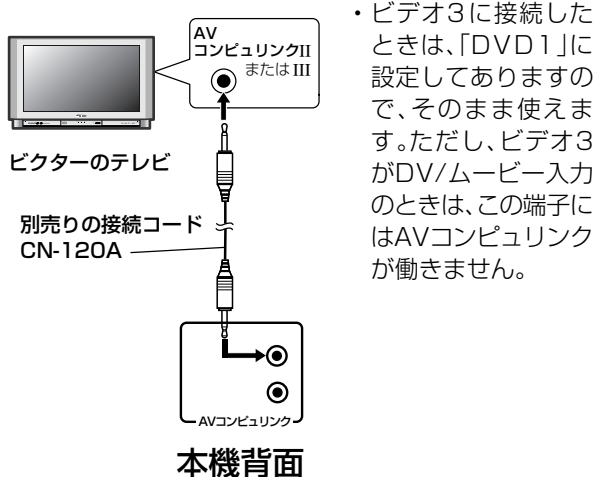
AVコンピュリンクの活用

本機にビクター製のテレビ、ビデオデッキ、AVアンプなどいくつかの機器をつないだあと、再生するための操作はそれぞれ別々に行わなければならないわずらわしさがあります。一つの機器の操作に連動してほかの機器を動作させることによって、簡単な操作を実現したものがAVコンピュリンク機能です。ビクター製の機器をモノラルミニプラグ付きの接続コード（CN-120A：別売）を使って各機器のAVコンピュリンク端子どうしを接続します。機器によっては、AV COMPULINK端子と英語で表記されていますが、同様の端子です。

- 接続する前に、必ず電源プラグを家庭用コンセントから抜いておいてください。すべての接続が終わってから電源を入れてください。
- AVコンピュリンクモードの設定（DVD1～DVD3の切り換え）は、初期設定メニュー画面（➡ **32**ページ）で操作します。
- 接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

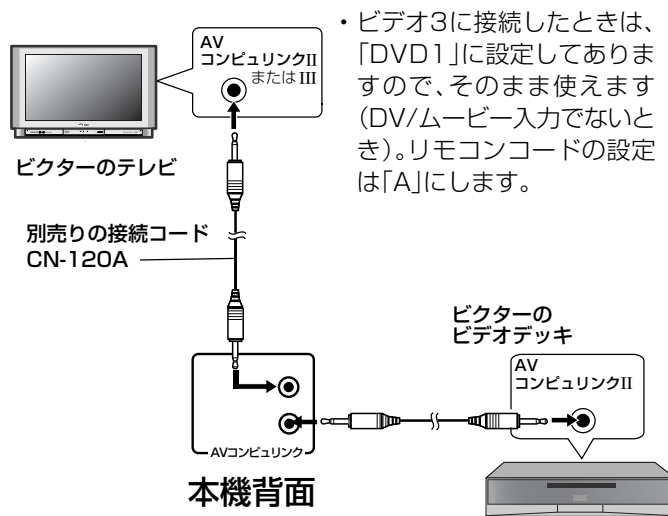
■ テレビとのAVコンピュリンク接続

本機背面

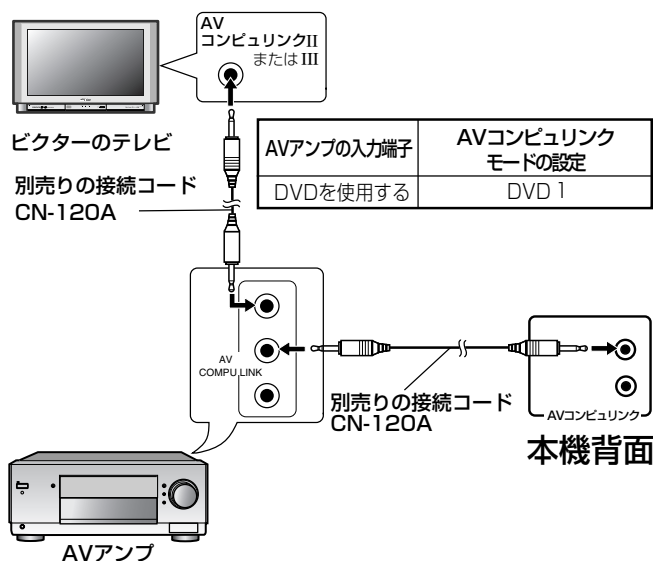
- ビデオ3に接続したときは、「DVD1」に設定してありますので、そのまま使えます。ただし、ビデオ3がDV/ムービー入力のときは、この端子にはAVコンピュリンクが働きません。

テレビの入力端子	AV コンピュリンクモードの設定
ビデオ1のとき	DVD2
ビデオ2のとき	DVD3

■ テレビおよびビデオデッキとのAVコンピュリンク接続

本機背面

- ビデオ3に接続したときは、「DVD1」に設定してありますので、そのまま使えます（DV/ムービー入力でないとき）。リモコンコードの設定は「A」にします。

テレビの入力端子	AVコンピュリンクモードの設定	ビデオデッキのリモコンコードの設定
ビデオ1のとき	DVD 2	B
ビデオ2のとき	DVD 3	A

■ テレビおよびAVアンプとのAVコンピュリンク接続

AVアンプの入力端子	AVコンピュリンクモードの設定
DVDを使用する	DVD 1

ご注意

- 本機からの音声出力をAVアンプにつなぐときは、AVアンプ側のDVD以外の音声入力端子に接続すると、AVコンピュリンクは正しく動作しません。
- D端子（D1/D2）を使ってテレビにつなぐときは、本機のAVコンピュリンクモードの設定を「DVD1」にしてください。また、AVアンプのSビデオ端子とは接続しないでください。

操作方法

ソース機器（本機やビデオデッキなどの再生する機器のことをいいます）を再生するだけで音や映像を鑑賞することができます。テレビやAVアンプの入力を切り換えたり、あらかじめ電源を「入」にする操作は必要ありません。

1 テレビの主電源スイッチを「入」にする

2 ソース機器にディスク、またはビデオカセットを入れる

3 ソース機器の[再生(►)]を押す

次の動作が自動的に行われます。

- テレビの電源が「入」になります。
- テレビの入力切換がソース機器を接続している外部入力（ビデオ1、ビデオ2、またはビデオ3）になります。
- AVアンプの電源が「入」になります。
- AVアンプのソース切換が**[再生(►)]**を押した機器に切り換わります。

AVアンプの電源を「入」にしたときは

AVアンプ側で選んだソースに応じた、テレビやソース機器の電源が「入」になります（AVアンプ側で選んだソースが「DVD」のときAVアンプの電源を「入」にすると、本機の電源が「入」になります）。

故障かな?と思う前に

故障かな？と思ったら、修理に出す前に以下の点検をしてください。下記の項目に当てはまらないときは、本機以外の原因も考えられます。接続している機器なども併せてお調べください。なお、下記の項目をチェックしても直らないときは、「保証とアフターサービス」（➡ **39**ページ）をお読みの上、修理を依頼してください。

症状		処置	参照ページ
電源	電源が入らない	●電源コードがコンセントから外れていませんか?	–
リモコン操作	リモコンが働かない	●リモコンを受光部に向けて約5m以内で障害物を避けてお使いください。 ●電池を交換してください。 ●電池の極性（⊕、⊖）が違っていませんか? 電池を正しく入れ直してください。 ●リモコン受光部への直射日光をさえぎってお使いください。	9 11 11 9
音声	音が出ない	●オーディオコードを正しく接続してください。 ●ディスクをクリーニングしてください。 ●再生中のディスクが不法なコピーディスクの可能性があります。 ディスクをお買い上げの店で確認してください。	10、11 7 –
	音がひずむ	●ディスクをクリーニングしてください。	7
	テレビの音声にくらべて、DVDビデオ再生中の音量が小さい。	●音声メニューで、Dレンジコントロールの設定を「TVモード」にしてください。ドルビーデジタルで収録されたディスクに限り、音量差が改善されます。	32
映像	映像が出ない	●ビデオコードを正しく接続してください。 ●テレビの入力選択が間違っている場合、正しいビデオ入力を選び直してください。	10 –
	画面サイズがおかしい	●「TVタイプ」の設定をお手持ちのテレビに合わせて正しく設定し直してください。	12、31
	映像が乱れる	●本機とテレビの間にビデオデッキを接続しているか、または本機をビデオ一体型テレビに接続していませんか? ●接続しているテレビがプログレッシブスキャンに対応していないときに、本機で「プログレッシブ」方式を選んでいる可能性があります。 本機のスキャンモードを「インターレース」方式に設定してください。	10 13
再生	「リージョンコードエラー!」と表示される	●本機とディスクのリージョン番号が異なっています。ディスクを取り換えてください。	表紙
	再生ができない	●ディスクをディスクトレイに正しく置いてください。 ●本機で再生できないディスクを再生しようとしています。ディスクを確認してください。 ●暖房を始めた直後や、寒いところから急に暖かいところへ移動したことによって本機の内部に水滴がついているおそれがあります。電源を入れたまま放置し、1～2時間してからディスクを入れてください。 ●視聴制限が設定されていませんか? パレンタルロックの設定を変更してください。 ●ディスクをクリーニングしてください。	14 6、7 5 34 7
	MP3/JPEG/MPEG-4ファイルが再生できない	●本機で再生できるファイルかどうかを確認してください。	25
	「言語メニュー」の設定項目が切り換えられない	●ディスクの再生を止めて「言語メニュー」の設定をしてください。	30、31
	音声言語/音声/字幕言語が切り換えられない	●再生中のディスクに複数の言語が収録されていない可能性があります。 ●再生中のディスクが、音声ボタンと字幕ボタンの操作を受け付けていません。言語メニューの「字幕言語」で切り換えてください。	– 31
	字幕が出ない	●再生中のディスクに字幕が収録されていない可能性があります。 ●言語メニューの「字幕言語」が「オフ」になっています。「字幕言語」を正しく設定し直してください。 ●A-Bリピート中は字幕が正しく表示されないことがあります。	– 31 –
その他	ディスクが取り出せない	●トレイロックが設定されていませんか？ 本体の[**⏏（開/閉）**]を押すと本体表示窓に「LOCK」と表示されるときは、トレイロックが設定されています。本機の電源が「切」のとき、本体の[**■（停止）**]を押しながら本体の[**⏏（開/閉）**]を押して、トレイロックを解除してください。	8
	正しく動作しない	●雷や電子ノイズでマイコンが誤動作しているおそれがあります。いったん電源を「切」にし、しばらく待ってから電源プラグを接続し直してください。	–

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の
最低保有期間は、製造打切り後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**にご相談ください。

修理を依頼されるときは　出張修理

38ページの「故障かな？と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクも一緒にご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	DVDプレーヤー
型　　名	XV-P303
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　-

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

■ この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

お願い

・ 本機の故障または不具合等によりディスクの再生などにおいて利用の機会を逸したため発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
	北海道		
北海道	札幌 S.C.	(011) 898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166) 61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157) 25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154) 24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155) 24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138) 52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
	東北		
青森	青森 S.C.	(017) 723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.C.	(0178) 44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172) 28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019) 637-0121	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢 S.S.	(0197) 22-2773	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018) 824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186) 43-0980	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182) 32-8873	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022) 287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.C.	(023) 642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田 S.C.	(0234) 26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024) 952-6331	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246) 27-7991	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	関東・甲信越		
群馬	前橋 S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第二棟1F
栃木	宇都宮 S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸 S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 246-2588	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏 S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	練馬 S.C.	(03) 3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03) 3727-9385	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426) 46-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03) 3874-5231	台東区根岸5-4-3
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048) 553-5105	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045) 651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎 S.C.	(044) 975-1879	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚 S.C.	(0463) 36-2160	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	横浜 T.C.	(046) 234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	甲府 S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	新潟 S.C.	(025) 242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258) 24-8391	長岡市下下条2-1366-1
長野	長野 S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21
	東海		
静岡	静岡 S.C.	(054) 282-4141	静岡市中田本町62-31 中田ビル1階
	沼津 S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564) 25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058) 274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593) 52-0841	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059) 229-7780	津市大字藤方485-18

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
	北陸		
富山	富山 S.S.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776) 53-6916	福井市西開発3-211
	近畿		
滋賀	滋賀 S.S.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773) 22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.C.	(0742) 35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072) 254-2881	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792) 34-3833	姫路市中地南町11-1
	中国		
岡山	岡山 S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083) 973-3708	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834) 27-1331	周南市野上町2-35
島根	山陰ビクター販売（株） 松江 S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	山陰ビクター販売（株） 鳥取 S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
	四国		
香川	高松 S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088) 622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895) 20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
	九州・沖縄		
福岡佐賀	福岡 S.C.	(092) 431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942) 39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097) 543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982) 35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0704

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

主な仕様

一般

再生可能ディスク	DVDビデオ、スーパービデオCD、ビデオCD、オーディオCD、CD-R/RW(オーディオCD、ビデオCD、スーパービデオCD、MP3/JPEG/MPEG-4)、DVD-R/RW(ビデオフォーマット)
映像信号方式	JEITA標準、NTSCカラーテレビジョン方式

映像出力端子

	出力レベル / インピーダンス
映像(コンポジット)	1.0V(p-p)/75Ω
S1映像	Y出力 : 1.0V(p-p)/75Ω C出力 : 0.286V(p-p)/75Ω
D1/D2(コンポーネント)映像	Y出力 : 1.0V(p-p)/75Ω P_B/C_B、P_R/C_R出力 : 0.7V(p-p)/75Ω
水平解像度	500本以上

音声出力端子

	出力レベル / インピーダンス
アナログ出力	2Vrms/10kΩ
デジタル出力	PCM/ストリーム(光) : −21dBm 〜 −15dBm(ピーク)

その他の端子 AVコンピュリンク (×2)

オーディオ特性

周波数特性	CD : 2Hz〜20kHz(サンプリング周波数 44.1kHz) DVD : 2Hz〜22kHz(サンプリング周波数 48kHz) DVD : 2Hz〜44kHz(サンプリング周波数 96kHz)
ダイナミックレンジ	16bit、98dB以上 20bit/24bit、100dB以上(JEITA)
ワウ・フラッター	測定限界(±0.002% W.PEAK)以下(JEITA)
全高周波ひずみ率	0.009%以下(JEITA)

その他

電　源	AC 100V、50Hz/60Hz共用
消費電力	電源「入」時 10W 電源「切(待機)」時 0.9W
最大外形寸法(幅×高さ×奥行)	435mm×44mm×201mm
質　量	1.6kg

- JEITAは電子情報技術産業協会に定められた測定方法による数値です。
- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本機は日本国内のみ使用できます。
外国では、放送方式、電源が異なりますので使用できません。
This DVD Player is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

用語解説

ASF(Advanced Streaming Format)
MPEG-4シンプルプロファイルのフォーマットの一つで、音声、動画、テクストなど様々な情報を含み持つことができます。

DTS(Digital Theater System)
サラウンド方式の一つで、チャンネル数はドルビーデジタルと同じ最大5.1chです。音声圧縮率を低くしたフォーマットのため、音に厚みのあるノイズの少ない再生が可能です。

D端子
D端子は、映像を色信号2系統と輝度信号1系統に分けた信号を扱います。コード1本で接続でき、送られる映像の信号フォーマットや縦横比(アスペクト比)の検出信号をもっているのが特長です。色の発色が良く、S映像よりも高い映像品位をお楽しみいただけます。本機のD端子（D1/D2）は、D2信号まで対応しています。

Dレンジコントロール
ドルビーデジタルで収録されたDVDビデオの場合、大音量シーンのときにテレビの音量を下げても、セリフなどの比較的小さな音を明瞭に聴きとることができる機能です。

JPEG(Joint Photographic coding Experts Group)
静止画情報圧縮フォーマットの一つで、インターネットやデジタルカメラなどに広く利用されています。

MP3
音声情報圧縮の国際規格で、音声データを元の音質を大きく損なうことなく、約1/10に圧縮することができるフォーマットです。

MPEG-4
映像圧縮の規格です。MPEG-1,MPEG-2よりも効率の良い映像圧縮が可能です。ビクター製デジタルムービーでは、メモリーカードに動画記録する映像圧縮方式として使用しています。

NTSC
日本やアメリカで採用されているテレビ/ビデオ方式です。ヨーロッパなどでは別の方式(PAL またはSECAM)を採用しています。フレーム数や走査線数が異なるため、方式間の互換性はありません。

PBC(プレイバックコントロール)
ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC対応ビデオCDでは、メニュー画面を使って、対話型のソフトや検索機能を持ったソフトなどが楽しめます。また、高精細な静止画が収録されているビデオCDでは、動画の4倍以上の解像度で静止画像を再生します。

S映像端子
映像を輝度信号（Y）と色信号（C）に分けた映像信号です。映像入力端子に接続した場合（黄色のプラグ）より、色のにじみの少ない鮮明な映像がお楽しみいただけます。
本機のS映像出力端子は、S1映像信号に対応しています。S1映像信号は、S映像信号にフルモード（縦長の映像）を自動判別するための識別信号を合わせた信号です。接続したテレビがS1映像信号対応機種のとき、この信号を検知すると自動的に画面サイズを変更します。

VFP(ビデオファインプロセッサー)機能
映像の微妙なチューニング（調整）を可能にする当社独自の機能です。ソフトやお部屋の状態など、お好みに応じ映像の明るさやコントラスト、中間の明るさが選べるガンマ補正や、色ずれを補正するY/Cディレーなどの項目が調節できます。これまで難しかった映画フィルムの質感にも迫る、なめらかで階調が深い映像表現の追求も可能にしました。

アスペクト比
表示される映像の縦横比のことです。通常のテレビの「横:縦」の比は「4:3」、ワイドテレビ、およびハイビジョンテレビの「横:縦」の比は「16:9」の比率をもっています。

インターレーススキャン方式(飛び越し走査)
従来の映像方式で、主にテレビで使われています。

スクリーンセーバー
長い時間、静止画を映しているとテレビ画面が焼き付きを起こし静止画の残像が残ってしまうことがありますが、これを防止する機能です。

タイトル
DVDビデオの構成単位で、カテゴリーやジャンル別での大きなくくりを指します。一般にDVDビデオは、いくつかの「タイトル」に区切られています。

ダウンミックス
サラウンド方式(3チャンネル以上)で記録されたマルチチャンネル音声トラックを、ステレオ2チャンネル音声にミックスして再生する機能をいいます。

チャプター
DVDビデオの各タイトル内を、個別のシーンなどの小さなくくり（チャプター）で区切った単位です。

トラック
CDやビデオCDなどの記録単位で、主に一つの楽曲をさします。

デジタルダイレクトプログレッシブ方式
プログレッシブスキャンで収録されたDVDビデオの映像信号を、インターレーススキャンに変換せずにそのまま出力します。プログレッシブスキャンが持つ本来の自然で美しい映像の再生を実現します。

ドルビーサラウンド
サラウンド方式の一つです。フロント、サラウンド(リア)計4ch分の音声信号を、いったん2chで記録し、専用のプロロジックデコーダーを通し再生時にはもとの4chに戻します。2ch記録のためステレオ機器につないでも違和感のない再生が可能な方式です。

ドルビーデジタル
サラウンド方式の一つです。音質を損なうことなく音声データを圧縮し、最大5.1chまで対応しています。

パケットライト方式
データをCD-R/RWに記録する方法の一つで、ディスクの空き容量に応じてトラックをさらに分割して記録します。本機ではこの方法で記録されたCD-R/RWディスクは再生できません。

パレンタルロック
年齢の若い視聴者に対して好ましくない内容を含んだDVDビデオの場合、あらかじめソフトに視聴可能なレベルが設定されています。このレベルに応じてプレーヤー側のレベルを設定し、見せたくないシーンなどを再生できなくしたり、別のシーンに変えたりすることができるようにする機能です。

パンスキャン
映画などの横長の画像をアスペクト比4：3のテレビに映し出す方法の一つで横長画面の左右両端が切りとられた状態で映ります。

プログレッシブスキャン方式(順次走査)
DVDビデオなどで使われている映像方式で、インターレーススキャン方式よりも、ちらつきのない高品位の映像をお楽しみいただけます。

ビットストリーム
ドルビーデジタルやDTSなどのように、圧縮されたデジタル音声信号のことです。一般に、各種エンコード作業によって作成されたデジタルデータをさします。

メニュー
DVDビデオに複数記録されたタイトルの映像や音声、字幕、マルチアングル等を選ぶために用意された画面をいいます。

リージョン番号(再生可能地域管理)
あらかじめ設定された地域(リージョン)についてのみ、再生を可能とするシステムのことです。DVDビデオのディスクに設定されたリージョン番号と、DVDプレーヤーのリージョン番号が合わない場合、再生することはできません。

リニアPCM音声
アナログ音声信号をデジタル信号に変換して扱う方式の一つで、変換に際して圧縮を全くしない方式です。

レターボックス
映画などの横長の画像、アスペクト比4:3のテレビに欠けることなく映し出す方法です。画面の上下に黒などの帯を付け、画面中央部にこの横長画像を映し出します。

索引

別売りのオプション品

• 光デジタルケーブル	: XN-110SA（1m）
• オーディオコード（RCAピンプラグコード）	: CN-510E（1m）
• ビデオコード（RCAピンプラグコード）	: VX-110E（1m）
• Sビデオコード	: VC-S110E（1m）
• D端子コード（Dプラグ～ピンプラグ×3）	: VX-DS210（1m）
• D端子コード（Dプラグ～Dプラグ）	: VX-DS110（1m）
• 接続コード（ミニプラグ）	: CN-120A（1.5m）
• DVDレンズクリーナー	: CL-DVDLW : CL-DVDLA

■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
品番は変更されることがあります。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
40ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル **0120－2828－17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話 (03) 5684－9311 FAX (03) 5684－9317 〒113-0033　東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV＆マルチメディアカンパニー
〒221-8528　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

0204KTYMDWJSC